

■総合計画パブリックコメントへの対応について

○次期長岡市総合計画（案）について、令和7年11月21日から令和7年12月12日までの期間でパブリックコメントを実施しました。

【意見提出者】41人

【意見件数】112件

資料3

令和8年1月22日
第6回総合計画
策定委員会資料

件数	意見の概要	計画案 ページ	長岡市の考え	計画への反映箇所 (ページ番号、修正箇所)
1	住みやすく子育てしやすい町してほしい。公共料金は高いし、それほど特色が見られない。喜んで移住してくるような発想が必要ではないか。医療機関は充実していると思う。	全般	本計画では、これからの10年間で「住み続けたい 戻ってきたい 選ばれるまち」を将来像として掲げています。この実現のため、4～6ページに記載の「長岡市の強み」（特色）を活かしながら、様々な施策を実施してまいります。ご意見の「住みやすく子育てしやすい」まちについては、30ページ以降の具体的な施策により取り組みを進めてまいります。また、評価いただいた医療機関の充実は本市の強み（特色）であると考えており、今後も58ページ記載の政策1-7「誰もが安心して受けられる医療体制の確保」で推進してまいります。 なお、計画の記載については現状のままといたします。	—
2	娯楽施設がない。季節、年齢問わずみんなが楽しめる施設が欲しい。交通も不便なく車の駐車場が広くある場所が望ましい。	全般	季節や年齢を問わず楽しめる娯楽施設の充実については市民ニーズが高い取り組みであると認識していますが、164ページの政策6-2、施策の柱2「人口減少などに対応した公共建築物の適正管理」の記載にあるように財源確保などの観点から、実現には必要性の有無や民間企業等の活用なども含め、十分な検討が必要だと考えています。 なお、計画の記載については現状のままといたします。	—
3	栃尾地域在住です。イベントが増えて盛況している様子はよく見ますが、住む人が少しでも増え(出ていく人が減る)てくれるような施策をお願いしたい。(土地代等?)	全般	本計画では、これからの10年間で「住み続けたい 戻ってきたい 選ばれるまち」を将来像として掲げ、30ページ以降の具体的な施策により取り組みを推進していきます。この将来像の実現に向けて市民の皆さんや事業者、行政が一体となって取り組んでいきたいと考えています。 なお、計画の記載については現状のままといたします。	—
4	<p>・行政の拠点（支所）が現状は10か所だが多すぎる。 市で1か所では処理しきれないため、2か所程度に集約がいいのではないかな。</p> <p>・長岡の最大のネックは信濃川。災害・交通・人口あらゆる面で格差がでている。適正規模を考えて</p> <p>・長岡のさらなる発展は、川西・川東の発展である 以下の分野で考えれば、明確・単純に理解できるはずである。</p> <p>1 治安・病院・消防・行政 A：治安・安全 長岡東警察署（長岡署）、長岡西警察署（現与板署） B：病院 長岡中央病院・立川病院（川東）、日赤病院（川西） C：消防 消防東本部、消防西本部 D：行政 市役所本部（東）、市役所支部（西 三島支所）</p> <p>2 野球場、劇場、映画館、陸上競技場 3 高校・大学・図書館（文化教育） 4 企業群、繁華街 5 火葬場（東）共同墓地 6 観光地 ・山の観光（山古志、蓬平、川口、小国、栃尾） ・海の観光（寺泊、出雲崎、三島、与板、和島、植物園（宮本） ◎出雲崎の合併案</p> <p>※この予算は、全予算の1割くらいが必要なはず。県・国をうまくまるめて引き出すべし。（市長の政治力）</p> <p>・市有地、空家、農業放棄地の民間活用対策の部署を設立して、民間と市の共同事業が必要</p> <p>・人口規模、合併可能性、大災害（原発・地震・大火災など）を考え、複数体制（2拠点）は重要</p> <p>対象期間が10年ぐらいなら、この程度でよいのではないかな。</p> <p>・二分化には、民間資本の投資と行政の補助が必要。この力が一元的で合力化されてない。一体化されているのは花火ぐらいだけかな。</p> <p>私立公立の発想をやめて、一体で取り組むべき。</p> <p>・この案は、同時に中核都市の提案でもあり、事前準備でもある。</p>	全般	<p>消防、スポーツ施設、文化施設の配置については、住民の安全性、利用状況や施設維持にかかる経費等を考慮し、施設の必要性を含めて検討しています。</p> <p>支所については、令和5年度から7年度にかけて業務内容と組織を見直しています。</p> <p>今後も住民の利便性と業務効率の観点から、支所のあり方について検討します。</p> <p>ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>	—
5	これまでの中越地区の母都市というスケール感ではなく、北信越トップを掲げるビジョンにしていいただきたい。 長岡市は地理的にも、自然にも恵まれ、かつ駅前、アオーレ、そして古正寺エリア等が非常に調和の取れた構成を成し、これは全国でもなかなか無い都市であり、また中心部（旧長岡市エリア）は人口減少しておらず、この現象は令和の都市モデルとして、さらに注目を集めると思う。新潟市の中心部の人口減少と比較し、大変評価できる状況にあるため、こういったこともさらに強く発信し、市や県内外からの関心をさらに高めていただきたい。 総合計画案でも人口減少を食い止める対策を講じていますが、それだけではなく、将来的な都市のビジョンとしても北信越トップを目指す、このようなポジティブな設定がポジティブな人々をさらに惹きつけるのではないかな。ポジティブな人が増えれば市民協働の長岡はますます活気づくと思う。	全般	残念ながら長岡市中心部においても人口減少が進んでいる状況です。 ご意見のとおり、長岡市は地理的・自然環境や都市機能の調和に恵まれており、これらを活かしながら更なるイノベーションに挑戦し長岡の魅力や拠点性を高めていくことが重要だと考えております。 これからの10年間、21ページのまちの将来像「住み続けたい 戻ってきたい 選ばれるまち」の実現を目指していくことで、全国から注目されるまちとなるよう尽力してまいります。	—

件数	意見の概要	計画案 ページ	長岡市の考え	計画への反映箇所 (ページ番号、修正箇所)
6	人口減少、税収減少は現実。緊縮財政になるのは当然の理。だからと言って、誰もがネガティブに陥るのは考えもの。 やはり、創意工夫である。安易にレベルを下げる事でもない。如何に生み出すか。そこが難関難問であり、視点を変えれば面白きことだろう。 例えば、当市からは豪雪の災禍によって消雪パイプが生み出された（アメリカ人が60年以上も前に、この装置が発明されていたことに驚いていた。そう、屋井先蔵の乾電池の発明も、そうではないか）。そのように、当市ならではの、あらゆるものを克服できる方策があるはずなのである（東山油田の石油採掘も、今も当市の工業における基盤となっている価値あることだ）。 今こそ真に、産官学金民で知恵を出し合い、考え、行動すべき時でもあると思う。どうやって当市を活性化（人口減少の克服、税収の向上等に大きく繋がるもの）させるのか。 そこは、慌てる事なく、じっくりと盤石に、未来永劫に発展させて行かなくてはならないと感ずる。ミクロな面から個人的に要望したい点では、この先、造形大でAI映像製作のカリキュラムが組まれる方向があるようならば、ぜひ講義、講習を受けたいと思う。自分は全般に、自主映画製作、上映、配給で、当市の一助になればと願っており（殊に映画館があった中心街活性化等に。＊栃尾地域、与板地域もそうである）、そのレベルアップには、AIによる映像効果が相当に期待されるからである（長岡市発、地域発の発信も促進され、費用対効果、コストパフォーマンスも、かなりある。また、そのように市民が生涯学習の場として、大学等を大いに気軽に活用出来るシステムの構築が必要。第二の人生を歩む60代が増加することもあり、間違いなく大学等の活性化となるだろう）。 これは、個人的なことではあるが、今やSNS席卷による、あらゆるシステムの進化は、もう見逃せないだろう。全てにおいて影響を与え、関わることである。当市の庁舎等も最早、不要になるかもしれない（リモートワーク等への変化、進化）。資金を投入した軸となるアオーレ、ミライエ長岡等は集約して残し、あとは何を削るか。そういった無駄を省くがための意義ある動きも起こるに違いない。その時に、ネガティブな流れで市民感情を落胆、逆撫でする事なく、創意工夫（発明等）で市民が心から納得する、逆に今ある暮らしが豊かになるような、未来に光が見えるポジティブな方策でもって、当市は乗り越えていかななくてはならないのである。	全般	人口減少や税収減少は、本市にとっても大きな課題であり、将来にわたって健全財政を確保し続けることは簡単なことではないと考えています。 しかしながら、ご意見の「創意工夫」への取り組みやオール長岡によるさらなるイノベーションへの挑戦によって新たな活力を生み出すことができるものと考えております。 これからの10年間で、21ページのまちの将来像「住み続けたい 戻ってきたい 選ばれるまち」を実現し、市民一人ひとりが幸せを実感できるよう、市民の皆さま、事業者、行政などが力を合わせオール長岡で取り組んでいきたいと考えています。	—
7	3ページ 「『また在来線も含め、県内や隣県との間においても交通の結節点となっています。』」と追加してはどうか。信越線、上越線、越後線、飯山線、市外にはなるが只見線と弥彦線へのアクセスもよく、また貨物駅があり、貨物ネットワークの重要地でもあるので。また信越本線高速化の議論が進んでおり、長岡市の交通において重要な背景となりつつあるので。	3	ご意見のまちのプロフィール「位置・地勢」へのご意見のいついては、市の大きな特徴を記載していることから、計画案のとおりとします。 なお、 5ページの「恵まれた生活環境と交通アクセス」に、「信越本線」及び鉄道網の記載を追加しました。	5ページ 第1節 まちのプロフィール 恵まれた生活環境と交通アクセス
8	3ページ 「近年では地球温暖化の影響により、夏の酷暑が増え、強雨が増加し、暖冬小雪傾向が強まっています。」を追加してはどうか。	3	ご意見のとおり反映しました。	3ページ 第1節 まちのプロフィール 気候・自然環境
9	とてもきめ細かく定量と定性で目標値を定めていること、とても感心しましたし、一市民としてもさらに誇りを持ちました。 今回、この計画案にぜひとも一案として検討いただきたい事項があり、国外から長岡に戻り起業して10年以上経つが、いまだに疑問を感じている。 「雪（長岡の冬）を都市ブランド資産として公式に位置づけるべき」 長岡市の最大の特徴である“雪”、もしくは“長岡の冬”が、いまだに市民の間で【不便・負担】の文脈で語られる傾向が強いことは、私には不満であり、今後の都市ブランド形成や発展、もしくは持続可能な都市のあり方における大きな課題と考える。 なぜなら、その街が好きな人が増えることが、その都市の価値を高め、持続させる根幹であるため。 夏の花火や米百俵のコンセプトは、すでに長岡市民の誇りとなっています。しかし一方で、「長岡市の最大の弱点は、雪を誇りとして語る“教育・文化”が存在しないこと」だと感じている。 雪に対するポジティブな価値観が市民間で十分に言語化・共有されていないため、長岡の冬の魅力が市外にも市内にも届いていないと考える。 加えて“雪（長岡の冬）”は、実際には以下のような長岡独自の 都市価値（Urban Value）を形成する重要な資産である。 1) 保湿作用による健康・生活環境の改善 2) 都市景観の美しさを形づくる資産（Scenic Capital） 3) 冬季の静寂という心理的豊かさを生む要素（Mindfulness Capital） 4) 良質な水資源の育成 5) 米・酒・野菜など食文化を支える土壌形成 6) さらに、私の所属する経済塾でも「温暖化時代は雪が富裕層を呼ぶ」と注目されており、 これらは国内の多くの都市が持ちえない、長岡だけの希少価値であり、都市ブランドを構築する上で戦略的に活用すべき“資源”のため、次期総合計画において、“雪を負担から価値へ”という認識転換を市として公式に提示し、雪国らしさを未来価値として構築する方針を都市ブランド戦略に明確に位置づけること、そしてそのための 教育改革（＝雪が資産であるという価値観の育成）を加えてほしい。 最後になりますが、幼少時に見ていた「笑っていいとも！」のテレフォンショッキングで、俳優の石黒賢さんが次のゲストに向けて「冬の長岡で会いましょう」とメッセージを残した回がありました。 子ども心に私は、「この人は分かっている」と深く感心したことを覚えています。 あの“冬の長岡の価値”を理解できる大人を増やすことこそ、次の長岡の都市ブランドにつながると強く感じています。	4	ご意見のとおり、長岡を好きな人、愛着を持っている人が増えることが都市の価値を高めることにつながると考えています。 「雪（長岡の冬）」は本市の魅力であることから、「雪の恵みを生かすため、積極的に考え、行動する」ことを記載した「克雪・利雪市民憲章」を平成元年に制定しました。 本計画の中で雪は、自然環境や食文化を支える貴重な資産である一方、それ以上に不便や負担を感じている現状があることから、基本目標3「災害や雪に強く、暮らしやすい安全安心なまち」として、冬期間の市民の暮らしを守るという観点での記載はしておりますが、雪を価値として考える観点は本計画に足りない部分でありますので、第1節まちのプロフィール「長岡市の強み」に「冬の豊かな雪は長岡の誇る重要なブランド・資産」であることをを記載し、今後、市民の皆様に誇りを持っていただけるような価値の再確認と発信に取り組んでいきたいと考えています。	6ページ 第1節 まちのプロフィール 豊かな観光資源と食文化
10	4ページ、明治以降の歴史もあるとよい。特に長岡は石油関連の産業で栄え、商業を興す者も多く、そうした歴史にも触れる必要がある。米百俵や摂田屋の歴史地区は本編でも重要な要素となっているため、その背景として明治以降の歴史を記述しておく必要がある。	4	本市の産業が油田開発を契機に発展したことや、摂田屋地区については、5ページ及び6ページの長岡市の強み「多様で活力ある産業基盤」、「歴史・文化と特産」のなかで記載していることから、歴史部分での記載は現状のままといたします。	—
11	4ページ 可能であれば、真珠湾との平和交流についても触れてほしい。	4	ハワイホノルル市との平和交流については、138ページ、政策5-1施策の柱1「戦争の悲惨さと平和の尊さの次世代への継承・発信」の中で触れているため、歴史部分での記載は現状のままとします。	—
12	5ページ「日本酒は酒蔵数16と、酒どころ新潟県内で1位『、また全国の市町村でも2位』。」を追加してはどうか。	5	ご意見のとおり反映しました。	5ページ 第1節 まちのプロフィール 多様で活力ある産業基盤

件数	意見の概要	計画面 ページ	長岡市の考え	計画への反映箇所 (ページ番号、修正箇所)
13	5ページ 米菓産業についても触れるべきではないか。	5	ご意見の米菓産業については、6ページ豊かな観光資源と食文化に、「米菓」を追加しました。	6ページ 第1節 まちのプロフィール 豊かな観光資源の食文化
14	5ページ「上越新幹線や関越・北陸自動車道『、信越本線』など、」長岡～(柏崎)～上越地域を結ぶ高速鉄道の議論が進んでいること、貨物ネットワークの重要性を踏まえ、信越本線を加える必要がある。	5	ご意見の趣旨を踏まえ、5ページのまちのプロフィール「恵まれた生活環境と交通アクセス」の記載を下記のとおり修正しました。 「上越新幹線や信越本線、関越・北陸自動車道など、」 「上下水道、都市ガスなどの生活インフラや市内・市外の各地を結ぶバス、鉄道などの公共交通が整備されています。」	5ページ 第1節 まちのプロフィール 恵まれた生活環境と交通アクセス
15	5ページ「『複数の高速道路インターチェンジおよび広域的なバイパス道路を有するほか、』近年では長岡西大積スマートインターチェンジや『長岡東西道路、』左岸バイパスなどの整備が進み、」ここは市の交通アクセスの概観なので、いま整備中のインフラに触れるなら従来のインフラにも触れた方がよいと思われる。また現在は一段落しているのかもしれないが、つい最近まで事業中であり、また4車線化に向け本編でも触れられている長岡東西道路はここに含める必要があると思われる。	5	ご意見の趣旨を踏まえ、概観として従来のインフラに触れた説明を追記しました。	5ページ 第1節 まちのプロフィール 恵まれた生活環境と交通アクセス
16	5ページ「『鉄道』などの公共交通が整備されています。」あえて「電車」としているならそれでもよいが、気動車を含めない意図が無いのであれば、語義の狭い言葉を使う必要は無いのではないか。	5	ご意見の趣旨を踏まえ、5ページのまちのプロフィール「恵まれた生活環境と交通アクセス」の記載を下記のとおり修正しました。 「上下水道、都市ガスなどの生活インフラや市内・市外の各地を結ぶバス、鉄道などの公共交通が整備されています。」	5ページ 第1節 まちのプロフィール 恵まれた生活環境と交通アクセス
17	5ページ「冬季でも安心して暮らせる環境『の整備に努めています』」。大手通り周辺だけ見れば「整っている」かもしれないが、雁木の減少や除雪すべき道路の増加もあり、必ずしも積雪に対応できておらず、冬季の移動は徒歩・クルマとも厳しいと言わざるを得ない。	5	ご意見の趣旨を踏まえ「整っている」とした説明箇所を修正しました。なお、まちのプロフィールとして雪国である長岡市ならではの施設を紹介している文言ですので、道路除雪に対する具体的な課題や取組方針については、政策の柱において説明いたします。（92ページ政策3-2「効率的な除雪体制の推進、消雪施設などの適正な維持管理」をご参照ください。）	5ページ 第1節 まちのプロフィール 恵まれた生活環境と交通アクセス
18	6ページ「毎年数十万人の方が観光に訪れます」とあるが、近年は有料観覧者の発表にとどまっていたように思う。「『有料観覧だけで17万人の方が』…」としてはどうか。（長岡市中心市街地活性化基本計画第4期計画ではこの記述となっている。）	6	観覧者数については、令和7年は2日間で延べ34万人が来場されました。開催年によって観覧者数が異なるため、このような記載としております。 ご意見いただいた箇所については、計画面のとおりとします。	－
19	6ページ 創作者の嘉瀬誠次さんに敬意を表し「正三尺玉『やナイアガラ』、復興祈願花火…」としてはどうか。信濃川の環境を生かした壮大さ、長岡発祥、という意味でもここに挙げるべき花火である。	6	ご意見をふまえ、長岡まつりを象徴する花火の一つである「ナイアガラ」について追記しました。	5ページ 第1節 まちのプロフィール 豊かな観光資源と食文化
20	6ページ 「豊かな観光資源と食文化」の中に、観光地としておそらく長岡で一番ポピュラーになった摂田屋地区のことが盛り込まれていないので、適切な文言を追加する必要がある。	6	ご意見をふまえ、「また、歴史的資源が多く残る摂田屋・宮内エリアは近年、「醸造・発酵のまち」として知名度と集客力を徐々に高めています。」を追記しました。	5ページ 第1節 まちのプロフィール 豊かな観光資源と食文化
21	6ページ 「豊かな観光資源と食文化」また「歴史・文化と特産」で、農産品について触れられていないのに違和感がある。「多様で活力ある産業基盤」で農業について大きく扱っているためとは思うが、重複になってよいので、「食文化」「特産」においてコシヒカリや米菓、枝豆や地元野菜について触れる必要があると思う。特に米菓については、本章に記載がないように見受けられるので、適切な部分にぜひ追加して頂きたい。	6	ご意見をふまえ、「地元のお米や野菜をはじめ、雪国の暮らしのなかで育まれた発酵醸造の食文化や、米菓、醤油赤飯、～」としました。	5ページ 第1節 まちのプロフィール 豊かな観光資源と食文化
22	7ページ「『地方における』若者や女性に選ばれる職場と暮らしの実現に向けた…」地方創生の文脈ではあるが、文頭から遠く文脈が分かりづらくなっているので、明記したほうがよい。	7	ご意見のとおり反映しました。	7ページ 第2節 長岡市をとりまく状況 人口減少・少子高齢化の進行
23	7ページ 文の後半や他項と整合させるため、「物価上昇が続く中、賃上げ『や投資による所得と生産性の向上』が伴わなければ国民生活は一層厳しくなるため…」としてはどうか。（なお国の作成した文にも「新たなステージへの移行のカギとなるのは、賃上げを起点とした所得と生産性の向上です」などとあり、前例があるという意味でも適切である。逆に言うところから「賃上げ」のみを抜き出すのは、前例に沿わず、また給与所得者以外の視点を欠くという側面もあり、適当でないように思う。）	7	ご意見のとおり反映しました。	7ページ 第2節 長岡市をとりまく状況 継続する物価上昇、成長型経済への分岐点
24	7ページ 自動運転については研究中・実証実験中の側面も強く残されているため、「自動運転の『研究・』実用化が加速しており、」とする方が適切である。自動運転は降雪への対応が十分にできておらず、雪国の観点からもちちらの方が適切といえる。	7	ご意見のとおり反映しました。	7ページ 第2節 長岡市をとりまく状況 人工知能（AI）等デジタルテクノロジーの発展
25	7ページ がんなどの闘病をしながら働くという考え方は重要であり、また社会にも着実に広がっているので、可能であれば「『病気や』障害の有無…」によらない公平な取り扱いと共生」として頂きたい。	7	ご意見のとおり反映しました。	7ページ 第2節 長岡市をとりまく状況 ウェルビーイングや多様性の重視
26	7ページ 平和都市としての立場もふまえ、「『緊張する国際情勢』」の背景を加えてはどうか。	7	次期総合計画における「長岡市をとりまく状況」では、地域社会に直結した身近な社会情勢に重点を置いて記載しております。ご意見いただきましたように「緊張する国際情勢」は、本市が非核平和宣言都市であることから非常に重要な観点であると認識しておりますが、本計画では具体的な地域課題や市民生活に直結するテーマを優先しましたことを御理解いただきたいと思います。このため記載は現状のままいたします。	－
27	10ページ 出生率低下については、婚姻率や夫婦の完結出生児数の低下が要因と指摘されており、具体化のため「『結婚や出生児数の希望を叶えられないことによる』出生率低下」としてはどうか。（こども家庭庁・結婚に関する現状と課題について・3ページに詳しい。資料では「『結婚の希望の実現』と『希望どおりの人数の出産・子育ての実現』に向けた対策が必要」とまとめられている。また結婚の障壁は出会いそのものが少ないこととも述べられている。）	10	ご指摘の箇所については、「人口の自然、社会増減の推移」のグラフについて補足説明するものであることや、他の記載との整合性の観点から、具体的な自然減の要因を記載していないため、記載は現状のままいたします。なお、出会いの創出や結婚を希望する方への支援につきましては、38ページの政策1-2施策の柱4「出会いの創出と結婚への支援」の中で推進してまいります。	－
28	11ページ 「2010年以降は『一貫して』、全国・新潟県の双方よりも高い…」とすべきではないか。さらに言うとな全体の傾向の記述であるため、2010年（リーマンショック後）や2005年（中越地震後）などの例外を除き、全国・新潟県の双方より概ね高い出生率である旨を記述する方がより適切ではないか。	11	ご意見を受け再度検討した結果、2015年の合計特殊出生率は、全国と本市同率であり、これより新潟県は0.01ポイント低くなっていることから、「全国・新潟県の双方より高い」の記載を見直し、「2010年以降は、全国、新潟県の双方よりも『概ね』高い合計特殊出生率となっています。」と修正しました。	11ページ 第2節 長岡市をとりまく状況 1-4 人口の自然動態の現状

件数	意見の概要	計画案 ページ	長岡市の考え	計画への反映箇所 (ページ番号、修正箇所)
29	14ページ　「2022年には1兆1,181億円『と、コロナ禍前の99.5%』まで回復しています」としてはどうか。	14	ご意見を踏まえ、「コロナ禍前（2018年）の99.5%まで回復しています」と追記しました。	14ページ　第2節 長岡市をとりまく状況 2-1 市町村内総生産（GDP）の推移
30	15ページ　「しかし2021年以降は回復傾向『となり』、2023年には703万人と『なりました』。」としてはどうか。回復途上のような文章であるが、ほぼ回復しきっているため。（なお「以降は」が「は以降」になっているため指摘しておく。）	15	ご意見のとおり反映しました。	15ページ 第2節 長岡市をとりまく状況 2-4 観光業の現状
31	16ページ　50歳代の最後の項だけ「。」が抜けている。	16	ご意見のとおり修正しました。	16ページ　第2節 長岡市をとりまく状況 5年後の幸福度が低い主な理由
32	16ページ　「子どもおらず『、』いずれどちらかが独りになったとき『のことを』不安『に感じるから』」「友達と話す『こと』が少なくなり寂しい『から』」と、文体を統一してはどうか。	16	市民の意見をそのまま掲載したのですが、ご意見を踏まえ文体を統一しました。	16ページ　第2節 長岡市をとりまく状況 5年後の幸福度が低い主な理由
33	19ページ　「受け『ら』れるように」「摂田屋の雰囲気『が』とても良い」など、最低限の文体は整えるべきではないか。	19	市民の意見そのままを掲載したのですが、ご意見を踏まえ文体を整えました。	19ページ　第2節 長岡市をとりまく状況 3-4 主な市民の意見 観光・交流
34	19ページ　「観光客を！『』市民が…」　（「！」の後には空白が必要。正式な文書のため、他ページも含め、同様の箇所は全て直した方がよい。）	19	ご意見のとおり反映しました。	19ページ　第2節 長岡市をとりまく状況 3-4 主な市民の意見 観光・交流
35	19ページ　「エリアがが誕生することを…」と「が」が多い箇所がある。	19	ご意見のとおり修正しました。	19ページ　第2節 長岡市をとりまく状況 3-4 主な市民の意見 観光・交流
36	21ページ　「変わるれ！『』長岡」　（「！」の後には空白が必要。半角スペースでよいので、入れると見た目も整う。他ページも同様。重要なキャッチコピーのため再度指摘した。）	21	ご意見のとおり反映しました。	21ページ　第4節 まちの将来像 キャッチフレーズ
37	21ページ　「市民一人が人『間』らしく幸せを実感し」の方が一般的ではないか。「人らしく」だとマイナスからゼロを目指す印象を持つ。	21	「人らしく」には、人間らしさの本質（人間としての本質や尊厳を備えていること）に限らず、人としてふさわしい状態やあり方を示しており、幸せを実感し、充実した人生を送ることを示す前向きな表現として使用しております。したがって、現状の表現を維持することが最も本市の将来像に適していると判断し、記載は現状のままといたします。	－
38	22ページ　具体的な指摘ではないが、「日本一子育てしやすい」は今やどの自治体も言って/目指しているような現実があるので、なるべく具体化・差別化できるよう取り組んで頂きたい。このままでは何も言っていないのと同じになるという危機感がある。	22	ご意見の「日本一子育てしやすいまち」については、基本目標2「子ども・若者が夢や希望をもち、誰もが学び続けることができるまち」に係る施策全体のキャッチフレーズの一つとして記載しており、各施策の推進によって実現したい目標として掲げております。具体的に、当市として重点的に取り組んでいく施策等については、62～86ページに記載しております。	－
39	22ページ　「米百俵ブレイス『』ミライ工長岡」と、半角スペースが入るのが正式ではないか。	22	ご意見のとおり反映しました。	22ページ 第5節　基本目標 「子ども・若者が夢や希望を持ち、誰もが学び続けることができるまち」
40	22ページ　生涯学習の文脈では、ミライエだけでなく「まちなかキャンパス長岡」についても触れるのが適切ではないか。キャンパスと名付けており、実際に素晴らしい生涯学習施設であるだけにもったいない。	22	まちなかキャンパス長岡は、ミライエ長岡東館オープンにともない、ミライエ長岡へ機能移転する予定です。このため、まちなかキャンパス長岡を含めた意味で、ミライエ長岡を拠点と記載しているものです。64ページの「主な取組」には、具体的な施策としてまちなかキャンパス長岡について記載しております。	－
41	22ページ　「自家用車を使わなくても安心して暮らせるまち」と盛り込まれたことに、最大の賛成を述べる。中心市街地についてのアンケートでも、今回のアンケートでも、また新潟県が若者やこども・親などを対象に行っているアンケートでも、公共交通の拡充を求める意見は非常に多く、また年々高まってもあり、こうした方針が打ち出されることは極めて適切である。	22	次期総合計画の特に力を入れて欲しい取組のアンケート調査でも「公共交通の維持・確保」が上位にあがっており、重点政策として「変わるれ！宣言」に位置付け、施策を推進していきます。	－
42	22ページ　一方で、「公共交通を確保！」だけ見ると、利便性の観点が弱く、維持のみを行うようにも読めてしまう。後半に「安心して」との文言があるため、それらの観点も一定程度確保されているとは言えるが、「公共交通を確保！『強化！』自家用車を使わなくても安心して暮らせるまち」などとするとより適切であり、また全体としても整合がとれる。	22	「変わるれ！宣言」に記載した「公共交通を確保！」には、22ページの下段に「利便性が高い公共交通網の構築」と記載しているように、利便性向上の観点も含んでいます。 以上のことから、ご意見いただいた箇所については、計画案のとおりとします。	－
43	22ページ　「利便性が高い公共交通網を構築するとともに、…」の項にも、最大の賛成を述べる。新技術の導入も当然見据えつつ、一方で技術動向に左右されないことが重要であるため、具体的な技術（ライドシェアや自動運転などが想定されるか）を盛り込んでいないのも極めて適切である。また「将来に渡って持続可能な移動手段を確保する」と明記されていることにも、同じく賛成を述べる。結果論ではあるが、かつてのモータリゼーション、道路交通への偏重は、持続可能性という意味で課題を持っていた。また公共事業の過度な縮小は、人手への偏重という副作用を生み出し、ここきて人手不足の憂き目にあっているのが現状である。今後も、先々の技術革新期待への偏重、外部人材期待への偏重、資源への偏重などが起きないように十分気を付けつつ、地に足をつけて、公共交通について構想していく必要がある。	22	今後も社会情勢や技術革新、地域の実情等を勘案しながら効果的・効率的に取組を進めていきます。	－

件数	意見の概要	計画案 ページ	長岡市の考え	計画への反映箇所 (ページ番号、修正箇所)
44	23ページ 「…といった教育・観光資源、『県内最多の酒蔵を誇る日本酒やコシヒカリといった』地場産品、『魅力ある食文化や雪国らしい街並みを含む』暮らしの知恵は、先人の英知と努力によって創造されました」としてはどうか。農業や農産品、日本酒や発酵食を含み例えばミシュランガイドにも取り上げられる食文化、また世界的にも特異な雪国文化について触れられていないのが残念なため、ぜひとも盛り込んでほしい。	23	県内最多の酒蔵、日本酒やコシヒカリなどは5ページ及び6ページに紹介しておりますので、ご意見いただいた箇所については、計画案のとおりとします。	—
45	24ページ 女性活躍に加え、子育て世帯の尊重も盛り込んでどうか。近年は比較的理解が進んでいるが、子育て、特に男性や家族ぐるみでの子育てへの社会的協力体制については、いまだ確保できていないと感じている。社会のあらゆる当たり前を見直しつつ、合理的に子育て世帯を支援していく必要があるし、当事者としてそうして欲しいと思う。女性活躍はそうした前提も必要とするので、両輪で回していくべきだと思う。	24	ご意見のとおり、子育て世帯の支援や男性・家族ぐるみでの子育てへの協力体制は重要な課題であると認識しています。本計画の「女性活躍をはじめとする多様性の尊重」の視点は、多様な人々が互いに尊重しあい、個性を活かして活躍できる地域共生社会の実現を目指すものですが、子育て世帯への支援については、34ページ、政策1-2「多様性を認め合い、自分らしく暮らすことができるまちづくりの推進」や78ページ、政策2-5「みんなで支え、喜びや希望、関心をもてる子育て環境の創出」などの具体的な施策の中で包括的に支援を推進するため、視点での記載は現状のままといたします。	—
46	25ページ 「さらなる住宅地の供給や大規模商業施設の立地を図る市街地の拡大は行わず」と明記されていることに強く賛成する。農地等との距離も含め、今住んでいる環境が変化することは想像以上の負担や喪失感を伴う。そうした意味も含め、新しい住宅地や大商業地の供給ではなく、既存の住宅地や商業地への投資が持続するように促していく必要がある。	25	25ページの第7節土地利用構想「土地利用・管理の基本方針」において、コンパクトなまちづくりに取り組むとともに、長岡の総合的な魅力を発揮する土地利用を図る旨について記載しております。これらの方針に基づき、日常生活の利便性を維持していきたいと考えております。	—
47	24ページ(第6節 政策を推進する5つの視点)について、視点の1つとして表現はうまく見出せませんが、地域格差是正に関する項目があってよいかと感じた。 ※ 地域格差：本資料でも人口減少がうたわれているが、4年～10年後を見据えたときに人口減少に伴うあらゆる面での地域格差がより広がると感じている。(旧長岡市と過疎地域6か所との比較) 【小国地域の地域づくり・地域振興の現状】 ・組織団体はいくつかあるが、それらの団体がうまく機能していない。(物事をうまくナビゲートしてくれる人がいない) このまま何もしなければ、いずれは地名だけが残り生活感の無い地域になるのではないかと感じている。 是正として、そのままの表現はできないと思うが一言でいえば地域の行政依存型からの脱却です。(地域が主体となり自らが考え行動する地域づくり・地域振興を進めていく体制構築です) 今の地域に必要な事は、地域づくり・地域振興を進めるにあたり物事の進め方を教授してくれる存在であり、その役割の一端を行政(支所)が担う方法も在りかと考えます。(家庭教師的な役割) ※ 視点2にもつながる部分ではありますが・・・ 細かいことは書きませんが、過疎地域(小国)についての未来(4年後)は後期高齢者1人暮らしが現状の倍になると想定しています。 今のままでは直近(5年～10年)で地域社会の維持管理ができない状態になる可能性があるかと危惧しており、それらのことは人口動態でも伺えます。(高齢者(65歳未満)より若い世代の人材と人財の流出) 今後想定される事を踏まえ、自分達の地域は自分達で作っていく!ことを目的に視点の1つとして上記内容に関する表記があってもよいのではないかと思う。	25 109	ご意見のとおり、人口減少や高齢化かが進んでいる地域では、様々な課題が顕在化し、地域の活力や賑わいが低下しています。109ページ政策3-6、施策の柱4「誰もが安全・安心・快適に暮らせる地域づくりの推進」では、そういった地域で誰もが安全・安心・快適に暮らせる地域づくりを進めるため、多様な主体が参画する地域運営の仕組みづくりを目指しており、住民が住んでいる地域のまちづくりに関わっていると思う人の割合を高めることを目標としています。 総合計画は市政全般に関する総合的な指針であり、10年間の中長期的な視点で方針を定めているため、個別の地域の状況は記載していませんが、市としては本計画に基づき、毎年度実施する個別事業の計画の中で、地域が主体となって進める地域づくりに関する具体的なことを定めていきます。	—
48	29ページ 重要業績評価指標（KPI） 最終目標である転出超過を解消するためには、他の都市と比較して住むメリットがなければならないと考える。 分かりやすく住むメリットを作り出すためには、他都市と比べて税金が安いといったところが大事だと思うので、住民税の減税や固定資産税の減税など住むだけで他都市と比べて得をする減税政策をするのが良いと思う。	29	本計画では、今後10年間の将来像として「住み続けたい 戻ってきたい 選ばれるまち」の実現を目指し、長岡市ならではの強みを活かしながら、市民の皆さまや事業者、行政が一体となって30ページ以降に記載の施策に取り組んでまいりたいと考えています。ご提案いただきました減税による住みやすさ向上につきましては、今後の施策の参考とさせていただきます、記載は現状のままといたします。	—
49	<基本目標1. 2> 内閣府は、高齢社会対策・孤独孤立対策として子ども家庭庁と共に、「地域の居場所づくり」を推進している。 新潟市の「地域の茶の間」は、その先駆的「居場所」であり、年齢等の制限が無く、現在は全国各地に「えんがわ」等の名称でその存在の重要性は大きいと思う。 その存在は、単なる支援者と被支援者の関係ではなく、介護・福祉・教育の現場でもあり得るが、犯罪や医療の重篤化を防ぐ可能性も有ると考える。 長岡市においても、例えば、リハビリやケアマネ経験者などを配置し、誰でも利用できる常設カフェ形式として、空き家を利用した居場所づくりに市が補助金を出すというのはどうでしょうか。新潟市は、町内に1カ所を考えているという話を聞きました。 長岡市も社協に任せるのではなく、市民と共に考えることから始めませんか。	44	人や社会とのつながりが、さまざまなプラスの効果をもたらすことは明白であると考えます。 計画では39ページ以下の政策1-3「市民が支え合う地域福祉の実現」で、市民や関係団体と協力・連携しながら、人や社会とのつながりを支援する取り組みを進めてゆくこととしております。ご提案いただいた常設カフェ形式や専門職の配置といった具体的な手法については、今後具体的な施策を展開する中で参考とさせていただきます。	—
50	○政策1-7に関係 医療制度について、長岡市は病院は豊富にあるが、多くの病院で定期通院の高齢者の患者数が多く、突発的なケガや発熱などの子どもの待ち時間が長いのが、連れ添いの働き世代の時間を圧迫している。病院経営を考えると定期診察の患者を確保していることは必要でありながら、より減少していく現役働き世代の時間をどう生み出すのか、その点が必要。 具体的には、子どもの診察を優先させる。定期診察の高齢者の対応をより自動化させ、薬をもらいにいくのみの通院をできるだけ簡素化させる（または、準診療的な取り組みとして診察を迅速にする、これを患者自身が選択できるようにすることで、病院側の過失にならないような仕組み導入など）ことが、選択としては必要と感じている。いかに、未来にむけての時間配分を優先的にとるか、が選択と集中という意味では必要。 言葉を選ばすにえば、リタイヤした高齢者には日々の時間がある。子育て世代には時間がない。このミスマッチをなくす必要があるため、子育て世代＝現役働き世代が、時間を生み出せるということはひいては高齢者にむけても社会サービスを落とさない選択ととらえている。	59	診察においては患者の症状や緊急性により対応が異なり、受診科の種別違いなどクリニックによる個々の実情も踏まえると、年齢等の基準を設けて受診時間を設定することは、難しいものと考えております。 一方で予約システム等を導入するクリニックが増加するなど、待ち時間解消に向けた取り組みも個別に進められております。 市としては、59ページの政策1-7施策の柱1「身近な医療体制の確保」に記載のとおり、新たな医療のあり方として、オンライン診療の普及に取り組んでいます。患者の待ち時間や移動に係る時間の削減と身体的負担の軽減に向けて推進してまいります。	—

件数	意見の概要	計画案 ページ	長岡市の考え	計画への反映箇所 (ページ番号、修正箇所)
51	① 不足する診療科及び医療空白地域への診療所誘致支援について ※59ページ「政策1-7 誰もが安心して受けられる医療体制の確保」「施策の柱1 身近な医療体制の確保」に関する意見 本計画では、身近な医療体制の確保を重点課題として掲げ、市立診療所や公的医療機関の機能維持・強化を図る方針が示されているが、地域医療を巡る課題は多様化しており、少子高齢化の進展や医師の都市部偏在が進む中で、地域住民が必要な時に必要な医療へアクセスできる体制の整備は、今後ますます重要となる。 特に、本市においては診療科の偏在や医療機関の空白地域が存在し、身近な医療機関へのアクセスに不安を抱える住民も少なくない。そのため、既存の医療機関への支援の充実に加え、不足する診療科の確保や空白地域の解消を視野に入れた、新規診療所（クリニック）の開設・誘致を促す制度の検討を計画に明記することを提案する。 具体的には、医師の開業支援、施設整備補助、地域ニーズ調査の実施、医療機関とのマッチング事業への支援など、行政が主体的に環境整備を行うことで、本市全域での受診機会の充実が期待され、市民が安心して暮らし続けられるまちづくりの実現に向け、医療アクセスの地域間格差を縮小する取り組みとして、本施策の検討を計画に盛り込んでいただきたい。	59	人口減少が進む中、貴重な医療資源の開業支援やマッチング事業等を活用することは、今後の地域課題解決に向けた重要な視点であると考えております。また、近年は不足する医療人材の活用の視点から、医業継承の取り組みも進んでいるほか、当市においては、地域格差を解消する手段のひとつとして、オンライン診療を進めております。 住民の皆様にとって、居住地域と受診地域は必ずしもイコールでないことから、医療の課題は圏域で考える課題でもあります。ご意見を参考に新潟県とも協議しながら、さらなる取り組みを進めていきたいと考えております。	－
52	学生の教育の充実を図ってほしい。特に精神面（道徳的観念）。	62	69ページの政策2-2 施策の柱3「多様性を認め合う教育や特別な支援を要する子どもへの支援の拡充」において、子どもたちが「人を尊重する心」や「困っている人を助ける気持ち」をもてるように、人権教育や道徳教育を進めています。 また、多様性を認める教育や人権教育を通じて、国籍や文化、障害の有無に関係なく、みんなが一緒に学び、理解し合える授業や支援を行っています。	－
53	1) 遊び回れる全天候型遊具施設がほしい 2) 外でも交通公園のような場所が欲しい 長岡市は体を動かして遊ぶ子供の【全天候型施設】がないと常々思っています。 年少さんから小学校中学年くらいがわんぱくに遊び回れるようなアスレチックや遊具がある広々とした施設を作ってほしいです。 屋外であれば公園でも遊べますが、春は花粉、夏は猛暑、冬は積雪、雨が降れば外では遊べません。 てくてくやぐんぐんなどもありますが、年少さんより小さい子供が遊ぶスペースはあっても、それより上の子供が遊ぶ場所はてくてくの四角スペースのみです。（しかも空調が無く、夏は暑く冬は寒いため行くのをためらいます。） 先日できた燕のハレテツばめのような全天候型遊具施設がほしいです。（市外在住者は有料というルールもいいと思います。） また、屋外施設でも丘陵公園はありますが有料なため常に行けるわけではありません。 新潟市にある「山の下みなとランド」や、燕市にある「交通公園」のような、おおきい遊具や安価なゴーカートみたいなものがあって、芝生ゾーンでピクニックできるような広々とした無料の屋外施設も作って欲しいです。 毎週末、子供を遊ばせるところに悩んでいて、他の市や県がうらやましいと思っています。 結局、家にこもってスマホゲームやYouTubeを見て過ごすことも多くなってしまい、これでいいのかと思い悩む日々です。 今回、市民の声を届けられる機会を設けていただけたので、思っていることをお伝えできて嬉しいです。 同じように思っている親はたくさんいます。 どうかご検討ください。	63 78	ご意見の天候に左右されずに遊べる施設については、81ページの政策2-5施策の柱3「地域社会全体で子育てを支援する体制づくり」の主な取組に記載しているとおり、児童会館を整備するなど充実を図ってきたところではありますが、雨や雪に加え、近年の猛暑日の増加等のため、以前よりニーズが増していることは市としても認識しております。 今後、屋内で遊べるスペースの充実に向けて当市としてどのような取組ができるか検討する中で、参考とさせていただきます。	－
54	64ページでミライエに機能移転していますが 移転するのではなく自主学習の場などを増やしてあげてほしい。 朝8時ころミライエを通ると、シャッターがしまったミライエ1階で学生さんたちが10数人、床に座り込んで教科書を読んでいる。 上司の娘さんが中学生でここの利用者なのですが、座席数が足りなくていつも取り合いだと話を聞いているため、アオーレなどを利用して、若者たちのために長時間開いているフリーの学習スペースを増やす施策をお願いしたい。	64	64ページの政策2-1施策の柱1「未来に向けた人づくりの推進」において、学校外の学びの充実について挙げており、自主学習の場につきましても、この施策に関連するものと考えます。 令和8年11月にオープンするミライエ長岡東館の3階には、まちなかキャンパス長岡が機能移転するオープンスペースや、中高生専用の部屋などがあり、自習にも活用いただける予定です。	－
55	64ページ 政策2-1 施策の柱1「未来に向けた人づくりの推進」 まちなかキャンパスなど気になる講座があっても子育てや仕事が理由で受講できないため、オンデマンド配信など対応してほしい。	64	まちなかキャンパス長岡の講座のオンデマンド配信については、これまでまちなかキャンパスの分科会で議論が行われてきました。講師の意向や受講料徴収などの課題はありますが、コロナ禍を契機に一部の講座についてオンデマンド配信を行っています。 本年度も2講座についてオンデマンド配信用に収録し、ウェブサイトに掲載する予定です。 引き続き、どのような形で受講の機会を増やせるか検討してまいります。	－
56	② 大学キャンパス誘致による産学官連携強化について ※64ページ「政策2-1 あらゆる年代における学び・体験・交流の充実による人材育成」「施策の柱1 未来に向けた人づくりの推進」に関する意見 市内4大学1高専と行政が連携し、地域産業の振興や地域経済の活性化に貢献するイノベーション人材の育成を図る方針が掲げられているが、これらの取り組みをより実効性あるものとするためには、大学・高専の既存資源を活かしつつ、さらなる多様性・専門性を地域にもたらす環境整備が求められます。その観点から、既存の4大学1高専では提供されていない分野の学部・学科を有する、全国規模の大学のキャンパス誘致を検討することを、計画に記載することを提案する。 新たな大学の立地は、市外からの学生や教員の移住・定着を促し、本市にとって重要な人口増加策ともなり、また、研究者や企業との交流機会が増えることで、産学官連携の幅がさらに広がり、イノベーション創出の基盤強化に寄与するとともに、市内企業の競争力向上にもつながると思う。 これらの効果を踏まえ、地域の発展と人材の育成を両立できる施策として、大学キャンパス誘致の方向性を計画に明記し、検討を進めることを要望する。	64 131	学術機関の研究者と企業とが交流する機会を増やすことは、イノベーション創出につながる大きな視点のひとつと捉えております。一方、18歳人口の減少に伴い、2026年度には大学進学者自体が減少局面への突入が見込まれ、地方大学の存続が危ぶまれるなか、大学キャンパスの誘致だけではなく、都市部又は他地域の既存大学との連携による施策も有効と考えていることから、計画への記載は現状のままいたします。今後も市内大学や高専を対象とした様々な産学官連携による事業のほか、全国の大学や高専を対象としたイノベーション創出プロジェクトの推進などに努めてまいります。	－
57	73ページ政策2-3について 学校の不登校が増えている中で、新潟県はS S R という、不登校傾向の子どもが安心して過ごせる場を学校に作るよう指示しているが、人員不足で作ることが難しい現状がある。市独自でS S R を運営するための人員を配置してほしい。	73	68ページの 政策2-2 施策の柱2「不登校など子どもたちを取り巻く様々な課題への対応と多様な学びの場の保障」において、長岡市では不登校児の自立支援に向け、居場所整備や相談・訪問支援の充実などに取り組んでいます。令和7年度から、校内教育支援センター（SSR）に専門支援員を配置し、順次拡大する予定です。	－

件数	意見の概要	計画案 ページ	長岡市の考え	計画への反映箇所 (ページ番号、修正箇所)
58	もっと子供を育てやすい環境を作ってほしい。 今では共働きが当たり前になってきて女性が正社員でもちゃんとフルに働かないとお金でないとか、そうではなく短縮の時間でもちゃんとお金が出るとか他の県では働きやすい環境だと聞いたりテレビで見ますが長岡市はいつ取り組むのか。	78 121	ご意見の「子どもを育てやすい環境づくり」「働きやすい環境づくり」については、122ページの政策4-2施策の柱1「多様な人材が活躍できる職場環境整備への支援」の現状に記載の通り、市内企業の働き方改革を促進するための情報提供やコンサルティング、研修会実施等を行っています。今後も引き続き取り組みを進めてまいります。	—
59	25ページ 視点3 女性活躍 多様性 尊重 小中学校に女子トイレを増やして欲しい。 温暖便座トイレに設備更新してほしい。 新しく改築した小中学校の校舎は存じ上げませんが、娘が通う豊田小学校では人口増加により児童数が激増している。 女子トイレ数が圧倒的に足りず休み時間にトイレが混む為、我慢している児童がいる。 学校長にいつも申し上げているが、冷たい便座は女子児童で用をたす事は可哀想なので、可能ならば洗浄機能付き温暖トイレを増やしてトイレを快適に使える様に男女共に改装、増設して欲しい	82	ご意見のトイレの設備更新については、83ページの政策2-6「安全安心でだれもとに残されない質の高い教育環境の提供」の施策の柱 1「施設の計画的な改修による保育・教育施設に求められる機能・性能の維持」の主な取組に記載があるとおり、教育環境の変化に柔軟に対応しつつ、建築物の耐用年数を踏まえて計画的に整備していくこととしています。 特に児童・生徒用トイレについては、児童・生徒数と便器数の把握を行って洋式化を進めており、また、その際には、洋式化する便座を暖房便座に改修しております。	—
60	82ページ政策2-6について 今年の暑さは異常であった。特別教室のエアコン設置が急務だと思うが、スピードアップしているとは思えない。米百俵の精神があるのならば、予算を拡充し、エアコン設置をスピードアップしてほしい。その学年で子どもが学ぶのは一生に一回である。その学びを大切にしている姿勢をみせてほしい。	83	ご意見の特別教室のエアコン設置については、83ページの政策2-6「安全安心でだれもとに残されない質の高い教育環境の提供」の施策の柱 1「施設の計画的な改修による保育・教育施設に求められる機能・性能の維持」の主な取組に記載があるとおり、今後も計画的に設置してまいります。 一方で、学校活動に加えて、災害時には避難所としても機能する屋内運動場への冷暖房設備の設置も並行して進めていきたいと考えております。 また、学校に設置されている既存の冷暖房設備についても、耐用年数を迎えたものから更新工事を行っています。 以上のように、同時並行で学校内の各箇所の冷暖房設備工事を行っているため、なかなか短期間で特別教室への設置率を上げることが難しいですが、できる限り効率的に整備を進めてまいります。	—
61	○政策2-6や6-2に関係 旭岡町や花園南などが宅地化され、豊田小の増築などが行われています。一方、隣の柿小学校には空きクラスがある。花園南から柿小学校は、そこまで遠くなく、そこに通うことも可能ではあったはず。宅地造成時には、短中期的な児童数増加の予測も取れるはずであるため、不動産会社や造成事業者と連携して前もって通学先の小学校を振り向けておくことで、増築工事は不要になった可能性があったのではないかと。 宅地造成時には、商工業者だけでなく、教育関係とも連携することでよりアンバランスな人口配置にならないような都市整備をすすめることができるため、部署の横連携が必要。	83	教育委員会では、地理的条件や歴史的経緯などを総合的に勘案して通学区域を設定しています。豊田小学校区の宅地造成の際は、関連部署と情報共有をしていたものの、ここまで大幅な出生者の増を見込んでおりませんでした。今後、宅地造成等における人口の動態について、関連部署とより横断的に連携し、将来的な人口配置を見据えたバランスの良い教育環境の整備ができるよう努めてまいります。	—
62	88ページからの自主防災について。 長岡市の農村地域の若者離れが深刻な状況の中、自主防災活動は必要であり町内会等と連携を担うのが、消防団だと思います。 しかしながら、消防士とは異なりそれぞれ仕事をしながらの活動を余儀なくされてる現状では、なかなか厳しいものがあります。 消防団員の活動内容には実際の活動にそぐわない活動も含まれており、なかなか担い手が見つからないのも現状です。 消防団活動の見直しを図り、活動の縮小、集約をするべきではないでしょうか？ 消火栓の雪かきや地元の巡回は率先してやらなければならない活動ですが、単に見た目や早さを競う操法は練習に時間を取られ団員の負担にしかなりません。この機会に消防団員活動の見直しを希望します。	88	ご意見の消防団活動については、90ページの政策 3－1 施策の柱 2「火災予防の促進と被害の軽減」の主な取組に「消防団、自主防災組織等と連携して住宅火災警報器の設置率の向上及び維持管理の徹底を促進します。」と記載しています。 消防団は地元住民に頼られ地域に密着した存在であるがゆえに、災害対応や火災予防啓発のほか業務が多岐にわたることは認識しており、これまでも消防団活動の見直しや消防団員の負担軽減にも取り組んでいるところです。 いただいたご意見は、消防団員の加入促進にあたり重要な視点であると考えますので、今後の施策や取組みの参考とさせていただきます。	—
63	計画案の全体に言えることで、柏崎刈羽原子力発電所の再稼働化を考慮することが必要不可欠。再稼働しなく、すぐ廃炉が決まっても処理には数十年掛かるので、燃料や汚染物質がある限り、事故やテロで長岡も汚染され、帰宅困難地域を想定した都市計画が必要。長岡は年間風向は西風が多いので西部の居住や土地利用は抑えていく必要がある。ちょうど福島浪江町を反対にした位置格好のため、一度避難すれば永遠に無人になる可能性を想定すべき。	88	災害リスクを踏まえた土地利用の考え方については、26ページの第 7 節土地利用構想「(4)豊かさや安全・安心を支える土地利用・管理」において、「ハード対策とソフト対策を適切に組み合わせた防災・減災対策を進め土士の強靱化を図る」旨を記載しております。	—
64	P89「原子力防災については、市町村による原子力安全対策に関する研究会の場などにおいて、国・県・市町村などの関係機関と課題の共有や連携を図り、安全・防災対策を強化しています。」とありますが、実効性のあるものなのか。 「自主防災組織 活動率 現状値67.0%原子力災害時における緊急時の行動の理解度 現状値73.9%」となっていますが、これは本当に実態を反映したものなのか。 私自身、市内の医療機関に勤務しているが、他の多くの医療機関や福祉施設同様、ぎりぎりの人員で日常業務を運営しており、非常時に患者・利用者の安全を図ることは困難と考える。 近年はどこの病院・施設もスタッフの数が足りずに、やっとの思いで運営しており、事業所の閉鎖も聞く。平素でもぎりぎりの人員で精いっぱいやっているにもかかわらず、大きな事故があった時に、患者さん利用者さん全員を無事に避難させることができるとは到底思えない。職場では、日常の業務だけで手いっぱいであり、非常時の対応は困難。 原発から30キロ以内の長岡市も、風向きによっては緊急避難を要することになるため、私自身、自分の身の始末がつけられるか・・・緊急避難を無事成し遂げることができるか、それは難しいのではないかと考えている。 所属する法人の理事長に、このことについて声を上げるようお願いしたことがあるが、理事長は、目の前の経営上の問題、すなわち『県内の多くの公的病院の赤字が報道されていますが、当法人も例外なく、法人挙げで改善努力中です。『来年度の診療報酬改定がどのようになるか』が殆どの医療機関の最大の関心事かと思っています。』に忙殺されており、原子力災害への対策に目を向けることができない状態にあり、事故が起こることを考える余裕のない人も多くいることをいいことに、形式的な避難計画を立案し、形式的にそれを認めるだけで、事を済ませないでいただきたい。すべての市民の安全を得られるかをしっかり検証していただきたい。	88	原子力災害は広域災害となり、長岡市単独では対応できないこともあるため、「市町村による原子力安全対策に関する研究会」の場などで直接国や県などに課題を伝え、具体的な対策を求めています。また、長岡市は自宅等への屋内退避が基本となりますが、毎年県と市町村と連携した避難訓練を行っており、実効性の向上に取り組んでおります。 「自主防災組織 活動率の現状値67.0%」は自主防災会からの活動報告書、「原子力災害時における緊急時の行動の理解度の現状値73.9%」は出前講座の受講者アンケートをもとにしており、どちらも実態を反映した数字となっております。	—

件数	意見の概要	計画案 ページ	長岡市の考え	計画への反映箇所 (ページ番号、修正箇所)
65	22ページの基本目標「災害や雪に強く、暮らしやすい安全安心なまち」では、「常在戦場」や「不断の努力を怠らず」といった精神論がちりばめられていて、自助・共助・公助の取り組み強化とありますが、行政としては公助をしっかりと具体的に書いてもらいたい。 例えば、避難所の環境です。未だに「雑魚寝」でしょうか。段ボールベッドや仕切りなどは、当たり前。家族単位の簡易テントは、どれだけあるのでしょうか。台湾やイタリアの避難所についてNHKの特集番組を見たことがありますが、イタリアでは「快適な避難所生活」という考えだそうです。同じ地震大国がやっているのに、日本はあまりにも程遠く情けないです。イノベーションを掲げるのなら避難所の環境をイノベーションすべきです。 また、原子力災害の対応は、もちろんですが、「長岡平野西縁断層帯」について何も書かれていない。新潟県の被害想定では、死者は7,920人、全壊の建物が171,244棟となっており、もっと危機感を持った計画が必要だと思う。建物の倒壊等で7,393人が死亡するという被害想定のため、建物の耐震化を進めるために補助金をさらに上乘せるなどして、市民の命を守るために税金を使っていただきたい。今の制度では、金持ちでなければ耐震工事などなかなかできません。 89ページで地域防災力の記述があるが、ここでも行政として防災環境を整える具体的な記述が見当たらないため、自主防災組織などの自助・共助は必要ですが、行政としての公助を具体的に市民に提示してほしい。	88	「公助を具体的に書いてほしい」、「原子力災害の対応や長岡平野西縁断層帯について書かれていないことが気になる」との御意見について、22ページの基本目標「災害や雪に強く、暮らしやすい安全安心なまち」においては、「平時においても緊張感を持つことを説いた「常在戦場」の精神や、中越大震災からの復興の経験や教訓を伝承し、不測の事態に備え、不断の努力を怠らず、自助・共助・公助の取組を強化していきます」と記載しています。ここでは具体的な取組ではなく、災害対応全般における「自助・共助・公助」に共通の基本的事項を記載していますので、計画案のとおりとします。なお、避難所の環境については令和7年度にテント式パーティションと簡易ベッドを購入し、整備を進めておりますが、御意見は防災対策を推進するにあたり重要な視点であると考えますので、今後具体的な施策を展開する中で参考とさせていただきます。	—
66	<基本目標3> 「長岡平野西遠断層帯」は、今年の1月1日、政府地震本部が最も発生確率が高い「レベル3」を宣言しました。新潟県は、能登地震以前より調査チームを作り被害、死者数7920人、避難者471,386人等の被害を想定しています。 ここに来て、柏崎刈羽原発再稼働による複合災害の可能性が高くなっており、従来通りの長岡市防災対策が如何に無防備であることが考えていただきたい。 長岡市は、その1年を通して偏西風により柏崎刈羽原発の風下に位置し、避難の困難さ以上に農地を含む生活圏が汚染されることは、フクシマ第一事故からも明らか。汚染された土地に住みたい者はおらず、その前に転居を考えるでしょう。 人口減少は確実に留まることは無いでしょう。 どうか、市民を守る地方自治行政としての対策を考えていただきたい。	88	ご意見については、89ページの政策3-1 施策の柱1「地域防災力の強化」において、「原子力災害と自然災害の複合災害が発生する場合に備え、国・県・県内市町村との連携を強固なものとし、広域災害に即時に対応できる体制を整えるとともに、原子力災害が発生した際の避難行動を住民自らが正しく理解する必要がある」という課題認識のもと、主な取組として「国・県・県内市町村と連携し原子力防災対策を強化するとともに、原子力防災の出前講座や防災訓練を実施して地域防災力のさらなる育成強化を図ります」という施策の方向性を記載しています。なお、御意見は防災対策を推進するにあたり重要な視点であると考えますので、今後具体的な施策を展開する中で参考とさせていただきます。	—
67	駅付近の片側二車線を無雪化のために消雪パイプを歩道側車線に新設してほしい。中央に消雪パイプはあるが中央側車線のみ消雪している。	92	近年、気候変動の影響や過度な地下水の汲み上げで涵養量の回復の遅れが課題となっています。市はこれまで消雪パイプの新設はさらなる揚水量の増加に繋がるため原則中止しています。 次期総合計画では既存施設を適正に管理するとともに、新技術を積極的に導入しさらなる節水対策強化に取組むこととしています。 ご指摘の大手通りの外側車線確保は必要に応じ機械除雪で対応してまいりますのでご理解をお願いします。	—
68	街全体をもっと明るくして欲しい。（夜） 夜歩いていると道が暗い。 信濃川沿い土手に街灯を付けて欲しい。	95	本市では、防犯灯の設置は町内会等で行い、市ではその設置・修理費用や電気代等の補助を行い、地域の意向を踏まえ「街を明るくする事業」に取り組んでいます。今後も地域の意見を聞き協力しながら事業を進め、安全安心な街づくりを進めてまいります。	—
69	交通防犯意識の充実を図ってほしい。	95	市では交通安全について長岡市交通安全計画に基づき交通安全意識の普及を推進し、交通事故発生件数の減少を目標としています。 また、防犯意識の向上・普及活動は、地域の防犯協会が中心となり行い、市はその活動への支援を行っています。今後も地域での防犯意識がより効果的に発揮できるよう、支援してまいります。	—
70	上組小学校に通う児童の歩道設置のお願い 宮内1丁目から太田橋までの道路は歩道がなく、毎日学校に通う子どもにとって非常に危険な道となっている。また近年宮内・摂田屋地区は、醸造の街として観光客も増えてきており、その方々にとっても旅行鞆を引きながら歩くには、歩道がないため危険な場所になっています。 片側でもいいので歩道またはそれに近いものを検討いただきたい。子ども、お年寄りにとって危険な場所は、少しでも減らしていくことが、住みよい街につながると考える。	95 111	通学路の安全対策は、86ページ政策2-6施策の柱4「学校、家庭、地域が連携した安全管理」に記載する「長岡市通学路交通安全プログラム」を策定しており、学校・PTA・警察・道路管理者が連携し、ハード・ソフト両面から児童生徒が安心して通学できる歩行空間の確保に取り組んでまいります。 ご指摘の上組小学校の通学路は過去に同プログラムの中で検討がされた経緯があり、その際は歩道用地確保が困難である理由から路面標示による注意喚起等の対策がとられました。いただいたご意見はあらためて同プログラムの関係機関で共有いたします。 また、96ページ政策3-3施策の柱1「交通安全意識の普及」の主な取組に文言を追加しました。	96ページ 政策3-3施策の柱1 「交通安全意識の普及」 主な取組に追記
71	家電の買い替え補助をして頂きたい。 エネルギーを少しでも抑える事が今後の課題かと思う。	98	市は、省エネ対策推進のため、小学生を対象とした「地球温暖化対策講座」の実施や「デコ活」の推進等により行動変容を促しているほか、太陽光発電設備等の導入支援により再生可能エネルギーの利用促進に取り組んでおります（総合計画99ページ、100ページ参照）。 省エネ家電への買い替え補助については、国の施策を注視するとともに、市の総合的な政策の中で優先順位をつけながら検討していきたいと考えております。	—
72	近年、バスの本数が少なくなってきており、特に高齢者にとって外出が不便になっていると感じます。外出機会が減ることは、健康維持やフレイル予防の面でも大きな影響があります。 高齢者が積極的に外出できる環境を整えることは、市民の健康を支えることにつながります。また、高齢者が公共交通を利用しやすくなれば、利用者増につながり、結果として事業者にとっても安定した運営が期待できるため、高齢者と交通事業者の双方にとってWin-Winの関係になると考えております。 つきましては、高齢者がバスなどの市内公共交通を利用する際の乗車券（定期券・回数券など）について、市が一定割合（例：半額）を負担する制度の創設をご検討いただけないでしょうか。 この制度が実現すれば、 ・高齢者の外出促進、健康維持、介護予防 ・地域交通の利用増による維持・活性化 ・市民の生活利便性向上 など、多面的な効果が期待できると考えております。 高齢者が安心して住み続けられるまちづくりのために、ぜひ前向きなご検討をしてほしい。	105	ご意見の高齢者が公共交通を利用しやすい環境整備については、106ページの政策3-6施策の柱1「地域のつながりと暮らしを守る公共交通の確保」の主な取り組みにおいて、「公共交通と、地域の医療・福祉・商業・観光・教育などとの連携強化」とすると記載しています。 高齢者が安心して住み続けられるまちづくりのための重要な視点であると考えますので、今後具体的な政策を展開する中で参考とさせていただきます。 また、44ページ以下の政策1-4「高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域の実現」および53ページ以下の政策1-6「生涯にわたる健康な暮らしの実現」で施策を掲げているとおり、ご提案の目的や効果は、計画の方向性と合致します。 一方で計画では健全財政の確保も最重要課題としており、大きな財政出動を伴う補助制度の創設は難しい状況にあることをご理解いただきたいと思います。 高齢者が安心して住み続けられる地域づくりには、心身ともに自立して健康に生活できる期間、すなわち「健康寿命」が延びてゆくことが重要です。外出機会と健康寿命は密接な関係があると考えますので、今後具体的な施策を展開する中で総合的に検討してまいります。	—
73	長岡の花火は長岡市が誇る唯一の全国区です一定の区域の建築物の高制限制定をしてほしい。 多くの人達に長岡大花火大会を楽しんでもらいたい。	105	ご意見の景観については、110ページの政策3-6施策の柱5「安心して住み続けられる良好な住環境の創出」の主な取組に施策の方向性を記載しています。 長岡市内でも、まちづくりや住環境の観点から、一部の住居地域で高さ制限を導入しています。 ご提案については、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。	—

件数	意見の概要	計画案 ページ	長岡市の考え	計画への反映箇所 (ページ番号、修正箇所)
74	大手通の街並みを、チャットGPTを用い作成。アオーレ長岡にも整合性のある、木製のデザインと、雪の白さも映える天井、そしてそこにアジャストする街並みで制作しました。全天候型ですが、特に冬にも訪れたいくなる街並みの参考意見の一つとして、今後将来像の一例として検討いただきたい。	105	ご提案について、まちなかの交流拠点のシンボルであるアオーレ長岡との整合性を保ち、冬でも訪れたいくなる魅力的な街並みを感じられます。 まちなかにおける取組みについては、108ページの政策3-6施策の柱3「都市の中心性を高める魅力あるまちづくり」の主な取組に施策の方向性を記載しています。 アーケードや雁木は沿道の皆様の努力で設置・維持され、快適な歩行空間を創出しておりますが、街並みが穏やかで落ち着いた雰囲気を生み出し、より快適な歩行空間として、公民協働による都市機能の集積や住み続けたいまちづくりを進める中で参考にさせていただきます。	—
75	宮内駅のエレベーターの設置のお願い 近年宮内・摂田屋地区は、醸造の町として観光客が増えてきており、車の方のための駐車場は、土日には増やす動きがあるが、電車で来られる方も多く見受けられ、その方たちの多くが旅行鞆を引いて来ている。 しかし、宮内駅には、エレベーターがないため重い鞆を階段を使うしか上り下りの手段がない。 また、宮内駅は通勤通学の利用率も多く、その人たちが必ずしも階段の上り下りがスムーズでない様子も見ている。 先日、電車の戸が閉まり発車しようとした際に、足の不自由な方が階段をやっと降りてこられ、「待ってー」と声を上げている場面に遭遇しました。私が扉を抑え、乗られるまで発車を待ってもらい無事乗られました。このような方も毎日この駅を利用されています。 もしエレベーターがあれば、体の不自由な方やお年寄り、また小さいお子さんを連れた世代にももっと宮内駅が利用されやすくなり、しいては,観光客の方々も足が運びやすくなると思うので、ぜひ、宮内駅にエレベーターの設置を検討していただきたい。	105	ご意見の鉄道駅へのエレベーターやコインロッカーの設置については、106ページの政策3-6施策の柱1「地域のつながりと暮らしを守る公共交通の確保」の主な取組において、「公共交通網の利便性の向上」を図る、「公共交通と、地域の医療・福祉・商業・観光・教育などとの連携強化」と記載しています。 宮内駅に関するご提案は、ＪＲ東日本にお伝えするとともに、今後具体的な政策を展開する中で参考とさせていただきます。	—
76	105ページの公共交通機関について 現在くるりの神田線が廃止されて中島路線しか残っていません。 しかも11時台から14時台の間に1本も走ってないはアウトだと思います。 土日祝でさえ平日と同じで無い。 これでは足りません。 車を持たない層なので、この減便は不便極まりないと思っています。 せめて1時間に1本、走ってほしい。	106	ご意見の路線バスの利便性の向上については、106ページの政策3-6施策の柱1「地域のつながりと暮らしを守る公共交通の確保」に施策の方向性を記載しています。 具体的な取り組みについては、令和８年度から開始する次期「長岡市地域公共交通計画」の策定の中で検討していきます。	—
77	●106ページ 公共交通が不便（自家用車が必須）な状況では住みたい街になりにくい為、以下の３点については優先度を高めて実施する必要があると考える。 ・運行本数の維持 ・キャッシュレス等決済のしやすさ ・どのバスに乗ればどこに行けるか等の情報入手のしやすさ	106	ご意見の公共交通の利便性の向上については、106ページの政策3-6施策の柱1「地域のつながりと暮らしを守る公共交通の確保」に施策の方向性を記載しています。 具体的な取り組みについては、令和８年度から開始する次期「長岡市地域公共交通計画」の策定の中で検討していきます。	—
78	106ページ 前述の通り、できれば「公共交通の確保・強化」とすべきである。	106	22ページの「変わるれ！宣言」に、「公共交通を確保！」と、その下の説明に「利便性が高い公共交通網の構築」と記載しているように、利便性向上の観点も含んでいます。 以上のことから、ご意見いただいた箇所については、計画案のとおりとします。	—
79	ページ106 前述の通り、各種アンケートで公共交通の確保を求める声が大きく、また増加し続けている現状にもふれるべきである。また、そうしたアンケート結果から、基本目標、具体的な取組にたどりつくまでに、どうしても既存の取り組みの延長に落ち着いてしまっている印象がある。市民の声やその高まり、今後も予想される期待の拡大にあわせ、抜本的な強化ができるよう、（具体的な技術を問わず）あらゆる公共交通の充実に取り組む旨をさらに強く盛り込むべきである。	106	ご意見の趣旨を踏まえ、106ページ政策3-6政策の柱１「地域のつながりと暮らしを守る公共交通の確保」の「現状」「課題」を下記のとおり修正しました。なお、「主な取組」へのご意見については、現状の記載でも具体策を限定しているものではなく、様々な新技術を想定していることから、計画案のとおりとします。 ・現状 「また、長岡市総合計画市民アンケートによると「公共交通を使った移動がしやすい」と感じている市民は約3割にとどまっており、特に力を入れて欲しい取組の上位に「公共交通の維持・確保」があがっています。」 ・課題 「各地域の移動ニーズや、学生や運転免許を持たない方などのニーズに応じた交通手段を、持続可能な形で充実する必要があります。また、バスと鉄道駅といった、交通手段同士の連携強化も必要です。さらに、路線バス等の運転手不足が進む中、人材確保対策や新たな技術・移動手段の導入、地域が主体となる共助の仕組みづくりなども必要です。」	106ページ 政策3-6 政策の柱1「地域のつながりと暮らしを守る公共交通の確保」 現状及び課題に追記

件数	意見の概要	計画案 ページ	長岡市の考え	計画への反映箇所 (ページ番号、修正箇所)
80	<p>106ページ 中心市街地活性化基本計画・第4期・129ページにあるアンケート結果（2023）によると、今後の中心市街地活性化のために、「公共交通の充実」を「重要」と答えた人は「55.7%」、「やや重要」と考える人は「27.0%」であった。「重要」の割合は全項目中1位、「やや重要」を含めた割合は僅差で全項目中2位であった。（後者は「おしゃれで魅力的な店舗・飲食店」がわずかに上回った。）これにより、「公共交通の充実」は2018年に群を抜いて1位だった「駐車場の整備」を逆転した。今回のアンケート調査でも「公共交通の維持・確保」を求める回答は全項目中3位。5年後の幸福度が低い主な理由にも「公共交通の維持・確保が難しくなり…それにより生活しづらくなりそう」との項目が挙がっている。また、新潟県の若者・子供・親を対象にしたアンケートでも、公共交通の充実を求める声は非常に高い結果となっていた。こうした現状を盛り込む必要がある。</p> <p>そのため、次の変更を行う必要がある。</p> <p>現状の末尾に次のように追加する必要がある。「一方で、公共交通の維持・確保や充実を求める市民は年々増加しており、中心市街地の駐車場整備を求める声を逆転するなど、モビリティ・マネジメントなどによる市民の考え方の変化が着実に表れ始めており、こうしたニーズをしっかりと実現していく必要が出てきている。」</p> <p>課題を次のように変更する必要がある。「…運転免許を持たない方、『持っていても公共交通を利用したいと思う方』のニーズに応じた交通手段を…充実」「また、バスと鉄道駅『といった、交通手段同士の』連携強化も必要です。」「人材確保対策や新たな技術・移動手段等の導入、…も必要です」 ここで、連携する交通手段としては自転車や徒歩交通を想定している。また導入する移動手段としては多くのものが考えられるが、既存の「ライドシェア、A I オンデマンド交通、自動運転」に限定せずに取り組めるようにすることを狙っている。</p> <p>主な取組を次のように変更する必要がある。「・そのほか、今後の市民ニーズの変化にあわせた移動手段の確保・充実について、検討を続けてゆきます。」 前述のとおり具体策を決め切らないことが重要である。参考までに、個人的にはL R Tまたは都市型ロープウェイの導入ができないか調査検討している。</p>	106	<p>ご意見の趣旨を踏まえ、106ページ政策3-6政策の柱1「地域のつながりと暮らしを守る公共交通の確保」の「現状」「課題」を下記のとおり修正しました。なお、「主な取組」へのご意見については、現状の記載でも具体策を限定しているものではなく、様々な新技術を想定していることから、計画案のとおりとします。</p> <p>・現状</p> <p>「また、長岡市総合計画市民アンケートによると「公共交通を使った移動がしやすい」と感じている市民は約3割にとどまっており、特に力を入れて欲しい取組の上位に「公共交通の維持・確保」があがっています。」</p> <p>・課題</p> <p>「各地域の移動ニーズや、学生や運転免許を持たない方などのニーズに応じた交通手段を、持続可能な形で充実する必要があります。また、バスと鉄道駅といった、交通手段同士の連携強化も必要です。さらに、路線バス等の運転手不足が進む中、人材確保対策や新たな技術・移動手段の導入、地域が主体となる共助の仕組みづくりなども必要です。」</p>	<p>106ページ 政策3-6 政策の柱1「地域のつながりと暮らしを守る公共交通の確保」 現状及び課題に追記</p>
81	<p>長岡市は中心部ばかり優遇して最終的に合併地域を切り捨たいんだと思っています。中心部の子供たちほどさらに便利な首都圏に向かいUターンしようという考えが薄らいでいます。過疎地域のこどもたちこそ、地域愛を持ちやすくUターン願望があります。せっかく戻ってこようとしているのに就業環境、公共交通環境などどんどん不便な環境へと追いやられています。支所の機能はどんどん集約され、中心部の意見ばかり押し付け、何を思ってこのような計画を立てているのでしょうか。地域愛を持ち、地域を支えるのは中心部の人材ではありません。デスクで会議ばかりして現場に出てこない、理想ばかり話してそのあとは突き放す。そのような人たちが地域に来て、やりたい放題かき回して自己満足して帰っていく。長岡市（本所）の印象なんてそんなもんです。地域配属される職員に手当を厚くして率先して地域のために働きたいと思えるような役所にしてください。数値と叶いもしない理想ばかりつづくので途中で読むのをやめました、長岡市を盛り上げるのも、過疎を進行させるのも合併地域の活動次第だと思います。</p>	107	<p>中心市街地の活力向上は、地域の発展に重要な役割を果たすことが期待されていることから、まちなかを拠点として合併地域の地域愛と活性化を推進するとともに中心市街地との連携強化が欠かせないものと感じています。</p> <p>ご意見の地域格差については、109ページの政策3-6施策の柱4「誰もが安全・安心・快適に暮らせる地域づくりの推進」の主な課題において「地域ごとに拠点性を高めていく必要がある」と記載しています。</p> <p>また、支所地域の特色ある地域資源を活かす取組みとして、141ページの政策5－2施策の柱2「地域交流の活性化と地域資源の次世代への継承」の現状に記載の「地域の宝磨き上げ事業」を行っています。例えば川口地域では、「魚野川・信濃川の河川空間（水辺プラザ）」において、誰でも楽しめる「川魚つかみ取りイベント」の開催や、地域の伝統を保存・継承する取組として「天神ばやし」を小学生へ伝承する活動など、地元の活動団体が中心となって地域資源を磨き上げ、保存・継承し、子どもたちの地域への愛着と誇りの醸成に取組んでいます。また、主な取り組みに記載したように、地域愛を持ち、地域を支えていく人材を育むため、小中学校の教育活動の中で地域の宝や資源に触れ、自分たちの地域の魅力を知っていただく取組を進めています。</p> <p>このほか、153、154ページの政策5－6施策の柱1「自然や文化など、多様な地域資源の磨き上げと情報発信」、施策の柱2「地域資源を活かした交流の推進」の主な取り組みに記載したように、地域資源等の情報発信を積極的に行い、中山間地域等に興味や関心を持っていたき、自然や文化、暮らしに触れる機会を提供することで、交流の推進を図っていきます。以上のことから、ご意見いただいた箇所については、計画案のとおりとします。</p>	—
82	<p>長岡市次期総合計画に掲げられているコンパクトシティ方針に大いに賛同する。</p> <p>長岡が全国のプロトタイプとして持続的に発展していくための重要な方向性であると考えている。</p> <p>そのうえで一市民として、中心市街地（旧ヨーカドー、長岡駅東口エリア、古正寺等）に、高級ホテルなど“民間ブランドの象徴となる施設”を誘致することで、都心の魅力向上に大きく寄与すると考える。</p> <p>これにより、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外・国外からの認知向上（プレゼンスの強化） ・観光・ビジネス双方の交流人口の増加 ・周辺エリアの民間投資の活性化 ・「長岡都心＝滞在、移住したくなる場所」というブランド価値の向上 <p>といった効果が見込まれ、長岡市が掲げる「持続可能な都市の実現」にも寄与すると確信しているため、この方向性を検討いただきたい。</p>	108	<p>ご意見のまちなかにおける取組みについては、108ページの政策3-6施策の柱3「都市の中心性を高める魅力あるまちづくり」の主な取組に施策の方向性を記載しています。</p> <p>まちなかの拠点性や回遊性を高め賑わいをひろげ、持続可能なまちづくりを進めるためには、市民ニーズに沿った商業機能もまちなかの経済活動として重要と考えております。民間投資の呼び込みによる、まちなかの公民協働による都市機能の集積と連携を進める中で参考とさせていただきます。</p>	—
83	<p>●108ページ</p> <p>中心市街地の起業だけでなく、大手通商店街全体をショッピングモールとするような商業施設としての活性化も必要。なぜリバーサイド千秋をはじめとする川西地区の商業地域に人が集まるのか考慮すべき。</p>	108	<p>ご意見のまちなかにおける取組みについては、108ページの政策3-6施策の柱3「都市の中心性を高める魅力あるまちづくり」の主な取組に施策の方向性を記載しています。</p> <p>まちなかの拠点性や回遊性を高め賑わいをひろげ、持続可能なまちづくりを進めるためには、市民ニーズに沿った商業機能もまちなかの経済活動として重要と考えております。民間投資の呼び込みによる、まちなかの公民協働による都市機能の集積と連携を進める中で参考とさせていただきます。</p>	—
84	<p>③ 地域おこし協力隊・集落支援員の増員配置による地域・集落への支援について</p> <p>※109ページ「政策3-6 豊かな暮らしを守る公共交通の確保とコンパクトシティの推進」「施策の柱4 誰もが安全・安心・快適に暮らせる地域づくりの推進」に関する意見</p> <p>公共交通の確保やコンパクトシティの推進とともに、地域で暮らし続けられる仕組みづくりが重要視されており、特に、高齢化の進展や地域活動の担い手不足が深刻化する中で、地域運営を支える人的体制の強化は不可欠である。</p> <p>近年、市内でも地域おこし協力隊や集落支援員が一定の役割を果たしてきたが、市域の広さや課題の複雑化を踏まえると、十分な体制とは言いえない状況。地域の現場で住民と行政をつなぎ、地域の課題解決を推進するためには、外部人材の活用を拡大し、各地域・集落に計画的かつ継続的に人材を配置する体制が求められる。そのため、協力隊や支援員の増員、配置基準の明確化、定着支援や研修の充実などを計画に盛り込むことを提案する。</p> <p>地域運営をサポートする人材の配置は、地域活動の活性化、防災力の向上、生活支援サービスの強化、雇用の確保など、多面的な効果が期待され、住み慣れた地域で暮らし続けられる環境の維持に向け、地域運営の担い手確保を計画の中で明確に位置づけていただきたいと考える。</p>	109	<p>ご意見のとおり、地域おこし協力隊や集落支援員が新たな取り組みの推進役や橋渡し役となることで、地域の活力向上や課題解決に一定の役割を果たしています。109ページ政策3-6、施策の柱4「誰もが安全・安心・快適に暮らせる地域づくりの推進」では、人口減少や高齢化により担い手不足となっている地域では、外部人材を活用することで、多様な主体による地域が運営されていく仕組みづくりを目指しています。</p> <p>総合計画は市政全般に関する総合的な指針であり、10年間の中長期的な視点で方針を定めているため、協力隊や支援員の増員や配置基準、定着支援や研修などは、本計画に基づき毎年度実施する個別事業の中で行うことから、計画への記載は現状のままとします。</p>	—

件数	意見の概要	計画案 ページ	長岡市の考え	計画への反映箇所 (ページ番号、修正箇所)
85	<p>④ 空き家対策の強化による移住希望者等への支援について</p> <p>※110ページ「政策3-6 豊かな暮らしを守る公共交通の確保とコンパクトシティの推進」「施策の柱 5 安心して住み続けられる良好な住環境の創出」に関する意見</p> <p>空き家の利活用促進が重要施策として掲げられており、協定団体との連携や適切な管理の促進を進める方針が示されているが、市内には依然として多くの空き家が存在し、地域の景観や防災面への影響が懸念される一方、移住希望者や若者・子育て世帯にとって住まいの確保が難しいケースも見られます。</p> <p>空き家問題を解決し、地域の活力を高めるためには、現在の空き家対策をさらに実効性あるものに発展させることが重要。具体的には、不動産会社との連携による物件情報の充実、空き家バンクのシステム改善による利便性向上、空き家所有者からの相談体制の充実、空き家取得希望者への仲介支援の強化等が考えられる。</p> <p>また、若者・子育て世帯、市外からの移住者、二拠点生活者など、居住希望者の多様なニーズに応えるため、空き家の取得・改修・移住に係る費用補助制度の充実もあわせて進めるべきと考える。これにより、空き家の流通・定住促進が進み、地域の再生・活性化につながるため、空き家の課題解決と人口定着を同時に図る取り組みとして、本施策の具体化を計画に盛り込んでいただきたい。</p>	110	<p>ご意見の空き家対策の強化による移住希望者等への支援については、110ページの政策3-6施策の柱5「安心して住み続けられる良好な住環境の創出」の主な取組に施策の方向性を記載しています。</p> <p>なお、具体的な取り組みについては、ご意見を参考として、令和8年度に予定している次期長岡市空家等対策計画の策定を進めます。</p>	—
86	<p>長生橋の架け替えをしてほしい。</p>	111	<p>ご指摘の「長生橋の架け替え」は、次期総合計画の下位計画に位置付ける「長岡版広域道路ビジョン」において「市民に愛される地域のシンボル長生橋の延命化」を掲げているところです。</p> <p>次期総合計画に掲げる「信濃川橋りょうを強化し東西市街地の一体化」には長生橋は重要であり、長生橋の管理者である「新潟県」と連携を強化し、今後も機能維持に取組んでまいります。</p>	—
87	<p>全体的に、造形大学のデザイン人材やクリエイティブ能力の活用がもっと盛り込まれて良いと思う。また取組においても参考にして頂きたい。</p> <p>長岡市は川に富んでおり、こうした資源を活用すべきである。洪水対策・浚渫もかね、信濃川河川敷にキャンプ場を整備すべきである。また、河川改修においては、その生物多様性やあるべき景観に配慮してほしい。</p>	111	<p>具体的に造形大学のデザイン人材やクリエイティブ能力の活用という記載はしておりませんが、市内4大学 1 高専や外部人材を活用し、地域経済の課題解決を図ることを131ページ政策4-4「外部人材の視点を取り入れた地域経済活性化の促進」に記載しており、このほかにも政策2-1や6-1などにおいて、4大学 1 高専と連携し様々な取り組みを推進します。</p> <p>また、現在、信濃川河川敷は花火の観覧席やバーベキューなど多目的に利用できる公園が整備されています。令和元年台風19号をはじめ幾度も浸水が発生し、こうした施設が繰り返し被害を受けています。このため、国土交通省が信濃川の最下流大河津分水路の改修事業を進めており、これにより洪水リスクの低減が期待されます。いただいたご意見は今後の重要な参考とさせていただきます、関係機関と連携のうえ安全かつ豊かな河川環境づくりに努めてまいります。</p>	—
88	<p>長岡市の持続的な経済成長と定住促進を実現するため、KPIに基づき事務事業の最適化、職員への負担軽減を図りつつ、「減税と規制緩和」を総合計画の戦略の一つとして位置づけるべきと考える。</p> <p>1. 減税に関する提言</p> <p>目的：企業投資の促進と若年層の定住支援</p> <p>現状、少子高齢化と人口流出が続く中で、市の経済活力を維持するためには、企業が長岡を選び、市民が長岡に住み続けたいと思える経済環境が必要</p> <p>具体的な提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業向け優遇措置の拡充（投資促進） <p>市内の製造業やサービス業が生産性向上を目的とした設備投資（DX、AI導入など）を行った場合、その投資額に応じた固定資産税の特例措置を大幅に拡充・新設すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人向け優遇措置の新設（定住促進） <p>39歳以下の若年夫婦が市内で住宅を新築・取得した場合、固定資産税を一定期間（例：5年間）減免する制度を設けること。</p> <p>期待される効果</p> <p>企業の競争力強化と雇用創出を促し、若年層の経済的負担を軽減することで、長岡への人口定着と税収基盤の安定を図る。</p> <p>上記の他にも、長岡市の特徴を活かした減税と規制緩和は将来の長岡市の活力を生み出すための戦略的な投資であると考える。</p> <p>減税と規制緩和が長岡市が持続的に発展し将来にわたり選ばれる都市となるための重要な戦略であると考え、総合計画にこれらの施策を盛り込み、実行されることを要望する。</p>	116 105	<p>ご意見の企業投資については、118ページの政策4-1施策の柱2「官民連携による企業のDX推進」の主な取組において、「製造業のデジタル化や多品種少量生産に適したロボットの導入を伴走型で支援し、生産性の向上を図ることで、地域企業の持続的な成長を支援します。」と記載しています。</p> <p>市の取り組みとしては、イノベーション加速化補助金でDX・AI導入や生産性向上を目的とした設備投資に対し、補助金を交付し企業の競争力強化を支援しています。先端設備等導入計画の策定支援で中小企業が「生産性向上特別措置法」に基づき計画を策定することで、固定資産税の特例措置（最大3年間ゼロ）を適用しています。以上のことから、ご意見いただいた箇所については、計画案のとおりとします。</p> <p>また、定住促進については、107ページの政策3-6施策の柱2「拠点の維持と持続可能なコンパクトシティの推進」の主な取組において、「まちなか居住区域への誘導を促し、人口密度を維持していく」との考え方を記載しております。具体的な取組として、まちなか居住区域への定住者に対して固定資産税を一定期間減免(若年層は期間延伸)するなどの定住促進策を講じております。</p> <p>ご提案については定住促進を図るための取組として参考とさせていただきます。</p>	—
89	<p>長岡市の持続的な経済成長と定住促進を実現するため、KPIに基づき事務事業の最適化、職員への負担軽減を図りつつ、「減税と規制緩和」を総合計画の戦略の一つとして位置づけるべきと考える。</p> <p>2. 規制緩和に関する提言</p> <p>目的：地域経済活動の活性化と行政手続きの簡素化</p> <p>市民や企業が新たな活動を起こそうとする際の行政手続き上の障壁を極力取り除くことで、自発的な経済活動や地域活動を活性化させる必要がある。</p> <p>具体的な提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用途地域の弾力的な運用（遊休資産活用） <p>空き家や遊休施設を地域活性化に資する施設（カフェ、コワーキングスペースなど）へ転用する場合、建築基準や用途制限に関する規制を柔軟に運用する特例制度を設けること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政手続きの徹底的な簡素化 <p>市への各種申請、許認可手続き、補助金申請において、オンライン化を徹底し、対面や紙での提出を原則不要とすること。</p> <p>特に中小企業や地域団体が行う小規模な活動に対する許可手続きを大幅に短縮・簡略化すること。</p> <p>期待される効果</p> <p>眠っている遊休資産を有効活用し、起業家精神や地域コミュニティの活動を後押しすることで、長岡市全体の賑わいと経済活動のスピードを向上させる。</p> <p>上記の他にも、長岡市の特徴を活かした減税と規制緩和は将来の長岡市の活力を生み出すための戦略的な投資であると考える。</p> <p>減税と規制緩和が長岡市が持続的に発展し将来にわたり選ばれる都市となるための重要な戦略であると考え、総合計画にこれらの施策を盛り込み、実行されることを要望する。</p>	116 105	<p>ご意見の建築基準や用途地域の弾力的な運用による空き家の有効活用は地域経済活動の活性化へ寄与すると考えられます。空き家の利活用促進については、110ページの政策3-6施策の柱5「安心して住み続けられる良好な住環境の創出」の主な取組に施策の方向性を記載しています。空き家の利活用に際し、良好な環境、火災時の延焼防止、緊急時の避難路の確保などにより担保される公共の福祉よりも規制緩和を優先するには、対象区域住民の総意の上で行う必要があるため、今後具体的な施策を展開する中で参考とさせていただきます。</p>	—

件数	意見の概要	計画案 ページ	長岡市の考え	計画への反映箇所 (ページ番号、修正箇所)
90	箱物はなるべく整理し大学生が東京へ行かなくてもよいような、企業誘致に努める必要がある。高給と自分の能力を生かすため、育てた子が育ちあがったら東京へほとんど出てしまう。	121	ご意見の企業誘致については、123ページの政策4-2施策の柱2「企業誘致の推進」の主な取組において、「新たな産業団地の整備に加え、民間投資を促す再開発事業や地域未来投資促進法を活用した企業立地環境を整備します。」と記載しています。 以上のことから、ご意見いただいた箇所については、計画案のとおりとします。	－
91	⑤ 働き方改革推進企業への支援強化について ※122ページ「政策4-2 誰もがキャリアを活かしいきいきと働くための人への投資と産業集積の創造」「施策の柱1 多様な人材が活躍できる職場環境整備への支援」に関する意見 多様な人材が活躍できる職場環境整備を促進するため、「ながおか働き方プラス応援プロジェクト」の推進が掲げられています。働き方改革やワーク・ライフ・バランスの実現は、企業の生産性向上のみならず、若者や女性の定着促進にもつながる重要な取り組みだが、改革を進めるには企業側の体制整備や投資が必要であり、中小企業ほど実行が難しいのが現状である。 そのため、「はたプラ」の賛同企業を増やすためには、制度及び賛同企業の周知強化に加え、企業への具体的な支援策の充実が不可欠。例えば、取組内容に応じた補助金や専門家の派遣、人材確保に有利となる認定制度の拡充などが有効と考える。 行政の積極的な後押しにより、企業が働き方改革に取り組みやすい環境が整えば、地域の雇用環境改善と人材定着の好循環が生まれる。働きやすいまちづくりの実現に向け、賛同企業への支援強化の方向性を計画に明記していただくことを提案する。	122	「企業の取り組み内容に応じた補助金や専門家の派遣」につきましては、既に、専門職員による企業訪問・アドバイスや無料の社内研修会への講師派遣、コンサル等を行っています。また「人材確保に有利となる認定制度の拡充」につきましては、ながおか働き方プラス応援プロジェクト賛同企業のホームページ等での公表やロゴマークのイベントでの掲示、先進的な取組を表彰する「はたプラチナ賞」制度等により、賛同企業の周知を積極的に行っています。 計画中の「主な取組」のとおり、「ながおか働き方プラス応援プロジェクト」の推進の中で、企業ニーズや情勢を踏まえながら引き続き取り組みてまいりますので、ご意見いただいた箇所については計画案の通りとします。	－
92	123ページ 政策4-2 施策の柱2「企業誘致の推進」 企業が増えればそこで働く人が増えるので、人口が増え経済も活性化する企業誘致は大事だと思う。 企業を呼び込む為には法人市民税を減税するなど、企業の負担が軽くなる減税政策をする必要があると思う。 また、特区などを作り規制緩和をすることで新しいビジネスがしやすい地域にする必要があると思う。	123	ご意見の企業誘致への支援策については、123ページの政策4-2施策の柱2「企業誘致の推進」の主な取組に施策の方向性を記載しています。 長岡市では、地域未来投資促進法に基づく固定資産税の優遇措置等を講じており、こうした支援制度を活用しながら引き続き企業誘致に取り組んでまいります。	－
93	中央だけでなく、周辺地域も発展していくように考えてほしい。特に農業の振興の方策を考えてほしい。希望があり、生活できる農業の形を長岡から発信してほしい。	126	計画については、一部の地域だけでなく全市的な農林水産業の取組として記載しております。ご意見の「希望があり、生活できる農業の形を長岡から発信」については、126ページの政策4-3「次世代につなぐ活力ある農林水産業の実現」を目指すため、新しい技術導入による生産コストの低減や生産効率の向上、長岡産農林水産物のプロモーションなど稼げる農業の構築に向けた取組を進めていきます。	－
94	○政策4-3に関係 農林水産業の1次産業が、経済的に充実することはこの地方都市にとって非常に重要。海から山まである長岡の魅力を最大限発揮させることが肝心。そこで必要なのが、農林水産連携、農商工連携。軸を農業で考えると、現在依存している外からの資材調達を、より地域循環型に変える。下水の汚泥利用や、小魚などの未利用水産物の堆肥化による肥料利用、鉄鋼業の鉄くず残渣の肥料化などを推進することで、モノと金が地域内で循環する仕組み。それでできたお米は間違いなく「長岡オリジナル」の付加価値を以て、外貨を稼いでくるはず。モノが地域で循環し、金が外から流入すれば、そこに仕事は生まれ、雇用を生み出すことができ、職探しのために市外へ転出していた人材の雇用も復活することができる。 現在は、それぞれの産業をつなぐパイプが弱い。ハブとなる事業者をより発掘し、連携するためのアイデア出しや学術研究(大学)なども連携することで、産官学連携による新たな仕事を生み出すことができる。日本を農商工でリードする先進事例として、長岡が日本をけん引する。 行政的なアプローチも必要で、農林業分野でいえば、所有者不明地を開発するのが法律的に難しいのであれば、長岡特例として、不明地の取り扱いについて緩和措置を設けて、より健全な事業者(隣接耕作の農家等)であることが把握できれば、放棄地にせず利用できるようなスピード感ある「もったいない」をなくす取組が求められる。山地であっても、現在の放置林では、野生動物の住みよい状態ではなくなっているはずなので、所有不明地を利用できるようなとりはからいを行い、山道整備するなどして、新たに食物となる木を植えていく活動を行うことで、オスギを減らすことで花粉を減らす○クマなど野生動物と人との境界線を生みだす○野生動物も安心して暮らせる○50年先の地域内木材利用の可能性を作る○山の貯水量が増え、水害を減らせる○水がキレイになり、美味しい作物を作ることができる。	126	ご意見の付加価値向上、農商工連携及び森林整備については、129ページの政策4-3 政策の柱3「農畜水産物の付加価値向上と新たな市場の開拓」及び130ページ 政策の柱4「森林整備の推進と森林資源の利用促進」の主な取組に施策の方向性を記載しています。長岡市では、長岡産農林水産物のブランディングによる付加価値向上や6次産業化・農商工連携への取組支援、計画的な森林整備などに取り組んでおり、今後活力ある農林水産業の推進について、具体的な施策を展開する中で参考とさせていただきます。	－
95	長岡市には、米、日本酒、米菓子、etc食に関連した名産品が強みと歴史があり、新しい名物も創造構築をして、将来未来に残せる取り組みが大事だと思う。 提案したいのは、寺泊日本海などで、安定的に養殖魚を事業化して名産品、観光資源を構築していくこと。 村上のシャケが減り、新潟の水産資源はブリ、甘エビ、ノドグロなどの人気産品があるが、不安定な天然資源です。 水産事業の安定先行投資をぜひ、検討していただきたい。	126 131	ご指摘のとおり、本市には米、日本酒、米菓や水産資源や歴史などの地域資源が豊富にあると考えております。146ページ政策5-4 施策の柱1「豊富な資源を活かした観光誘客の推進」の現状と主な取組に施策の方向性を示しましたとおり、これらの資源を活かした新たな観光コンテンツの造成や磨き上げにつながる取組を進めてまいります。 また、ご意見の水産事業については、129ページの政策4-3 政策の柱3「農畜水産物の付加価値向上と新たな市場の開拓」の主な取り組みに政策の方向性を記載しています。 水産事業を推進していくためには、水産資源の保護や活用への視点も大切であると考えますので、今後具体的な施策を展開する中で参考とさせていただきます。	－
96	そもそも戊辰戦争や空襲、地震で何度も街が壊されたが、生き抜き涙を噛み締め今の街があるということを子どもは授業で習うが他県からのお嫁さんは一切わからない。市民に改めて熟知し長岡市を子どもから大人まで誇りに思えるものが大切なのではないだろうか。	137	ご意見のとおり、子どもだけでなく市民全体さらには市外に向けて空襲の史実を伝えることが大切だと思います。主要指標も全世代を対象としていますので、137ページ政策5-1の「政策の目指す姿」に記したとおり、あらゆる世代を対象に、「主な取組」にある事業を子どもから大人まで参加しやすいよう工夫しながら実施してまいります。	－
97	箱物については最大限、1～2か所に集約する。郷土資料館、土器、山本五十六、河合継之助、等歴史ものは美術館にきれいに展示する、歴史館と名前を変更してもよいと思う、空いたところは売る、貸す。 悠久山も検討の中に入っていたがお城、蒼紫神社、さくら、動物園があり、丘陵公園があってもやはり市民のよりどころである、ただ、よくしなかっただけ。動物園は教育機関であるが4つの目的を知らない職員が運営してきた、例えば旭山動物園はふるさと納税の項目にきちんと動物園用と明示してある、そして社団法人にして指定管理団体に業務委託しており、大学教授をも交えて発展した。お城は忍者屋敷にしてもよい。動物園の周辺も使い大きくし、アベックも遊びに来れるようにしたい。ゴーカートで遊べるとか、民間なら、CF、寄付も募れる、花をたくさん植える、運営をもっと考える。 新聞では280位あると出ていたが、私には資料がないので他はわかりません。なるべく県外の人を呼びこめるよう目を向けていただきたい。 丘陵公園では動物は入れない方針であるとのこと、悠久山に市の魚、錦鯉を入れる、市民ならズインバウンドにもつなげる。 現在の動物園は駆除やけがによる紫雲寺から飛べない鳥の譲渡、ムサシのペット館から兎、モルモット、小鳥の購入して展示しているためのただの保護施設です、動物園らしい動物を入れなければ一回見れば二度見なくていいようなものです、中、大型獣、絶滅危惧種の繁殖など専門的なこともやるべき。	139	ご指摘のとおり、博物館等は、老朽化も踏まえ、利用状況に応じて施設の集約化・複合化を進めます。これは、長岡市総合計画に関連する「長岡市公共建築物適正化計画」(令和8年度～12年度)に従い、検討します。悠久山小動物園につきましても、今後のあり方を検討します。ご提案の件につきましてはその際の参考意見とさせていただきます。	－

件数	意見の概要	計画案 ページ	長岡市の考え	計画への反映箇所 (ページ番号、修正箇所)
98	⑥ 長岡藩の歴史に関する博物館等の統合と長岡城の一部復元の検討について ※140ページ「政策5-2 歴史・文化や伝統の継承」「施策の柱1 歴史・文化に対する愛着と誇りの醸成」に関する意見 歴史・文化の継承と市民の愛着・誇りの醸成が重点課題として掲げられており、長岡市には長岡藩や藩主牧野家ゆかりの史跡など多くの歴史資源が存在するが、現在それらを体系的に学び理解できる場が十分に整備されているとは言えない。特に、長岡城が現在の長岡駅周辺に位置していたことを認識する機会は限られており、観光や教育面でのさらなる活用のためには、長岡城の立地に関する理解の浸透が必要と考える。 一方、「長岡市公共建築物適正化計画第2期計画（素案）」の80～81ページで、博物館等は利用状況に応じて施設の集約化・複合化を進める方針が示され、郷土史料館については築50年を経過するため建物のあり方を検討する、とされており、郷土史料館は悠久山公園のシンボルとして市民に親しまれている一方で、天守閣を模していることから「長岡城は悠久山にあった」との誤解を招く一因にもなっている。そこで、老朽化した郷土史料館と、現在さいわいプラザ内にある「長岡藩主牧野家史料館」を再編・統合し、長岡城及び長岡藩の歴史を一体的に展示する新たな施設を、長岡城跡にあたる長岡駅周辺に整備することを提案する。 また、長岡城跡には現在長岡駅やアオーレ長岡が立地しているが、旧長岡城の敷地は広く、用地の取得及び建物の移転ができれば、歴史公園としての整備が可能と考えられる土地がある。（例えば、三の丸南西部の旧太鼓櫓周辺等）そこに歴史考証に基づき、堀・石垣・櫓など長岡城の遺構を部分的に復元することで、市民の歴史への理解促進や誇りの醸成、観光振興、中心市街地の活性化など、多面的な効果が期待できる。長岡城・長岡藩の歴史的魅力を発信し、地域の誇りを未来へつなぐための施策として、長岡城の一部復元の検討を、計画に明記することを提案する。	140	ご指摘のとおり、博物館等は、老朽化も踏まえ、利用状況に応じて施設の集約化・複合化を進めます。これは、長岡市総合計画に関連する「長岡市公共建築物適正化計画」（令和8年度～12年度）に従い、検討します。ご提案の件につきましてはその際の参考意見とさせていただきます。 以上のことから、ご意見いただいた箇所については、計画案のとおりとします。	—
99	基本目標5、政策5-3（関係人口の創出・拡大と移住政策の促進） 「施策の柱2」では、関係人口を移住を前提に解釈しているようだが、関係人口は移住せずに地域と多様な関わりを続ける存在として捉えるべき。 関係人口とは、「特定の地域に住んでいなくても、その地域と継続的に多様な形で関わる人々」と定義されており、私たちの集落では、2022年から毎年東京（5泊6日）と名古屋（2泊3日）の2団体が集落を訪問し、里山の再生事業に汗を流している。 関係人口は人口減少、少子高齢化が加速度的に進行する農村集落においては救世主的存在であり、色々な可能性を秘めているため、是非、次期長岡市総合計画では、関係人口に対する解釈をもう一步先に進め、「主な取組み」では、関係人口の受入れに関する支援体制に取り組む姿勢を示していただきたい。 〈支援体制の例〉 ・宿泊施設の設置 ・食材等の諸費用の支援 ・移動体制の確保 ・リーダー、マネージャの養成	142	人口減少が進む地域では「関係人口」とされる方々の消費活動等による地域経済への貢献や、ボランティアや仕事を通じた地域の担い手としての貢献などにより、地域の活力の維持・向上が期待されます。関係人口を必要とするコミュニティはエリア・テーマ・関わり の程度などが多様であると考えられるため、他自治体の事例や本市における他の施策との均衡等を踏まえ、受入支援のあり方を研究していく必要があると考えます。 ご意見いただいた、関係人口創出・拡大については、143ページの政策5-3施策の柱1「ふるさと納税を軸とした多様な取組による長岡ファンづくりの推進」の主な取り組みに記載のとおり、寄附者が長岡市に来訪し関係人口につながるように取り組んでまいります。 以上のことから、いただいたご意見については、計画案のとおりとします。	—
100	長岡市には、主たる産業が無い。有るのは、山とか、自然だけ。こんなもので人を呼べるか。何かディズニーみたいな人を呼べるものを 無駄な金を使うなら建設的に考えるべき。	142 145	ご意見をいただきました観光誘客に係る取組みについては、146ページの政策5-4 施策の柱1「豊富な資源を活かした観光誘客の推進」の現状と主な取組の施策の方向性に記載のとおりです。本市には年間100万人が訪れる「ながおか花火館」をはじめとした市内の4つの道の駅や、寺泊魚の市場通り、醸造発酵のまち摂田屋・宮内など、豊富な観光資源があると考えております。これらの地域資源を活かした観光コンテンツの造成・磨き上げや情報発信の強化により、市内観光地へのさらなる誘客と周遊観光の促進を図ってまいります。	—
101	花火以外に長岡市の顔が見えない。気軽に行けるピクニックに行けるような所を整備してほしい。	145	本市には年間200万人近くが訪れる寺泊魚の市場通りや醸造発酵のまち摂田屋・宮内など今後「長岡市の顔」となりうる地域資源があると考えております。146ページ政策5-4 施策の柱1「豊富な資源を活かした観光誘客の推進」の主な取組に施策の方向性に記載があるとおり、地域資源を活かした観光コンテンツの造成・磨き上げや情報発信の強化により、認知度の向上や誘客の促進を図ってまいります。 なお、気軽に行けるピクニックスポットの整備に関してのご意見については、今後の参考とさせていただきます。	—
102	145ページ、147ページについて 観光客へのアピールは重要であるとする。長岡市のイメージを花火以外のものに塗り替えるほどの気持ちで、老朽化した施設の整備や、商業施設の誘致、長岡が持つ様々な観光資源の外部へのアピール等が必要であるとする。個人的には、郊外に吸われてしまっている市民の足をまずは街中に向けさせることが重要であるとする。ショッピングモールやリーズナブルな飲食店、コンビニやスーパー等、市民の生活を支え彩る施設は観光客にとってもありがたいものだと思う為、居心地の良さを作るためにも誘致できる環境を整えて欲しい。そして寺泊や山古志、悠久山や栃尾などの中心から離れた場所への導線をしっかりと引く事で、観光客が行きやすい場所にしてほしい。そしてそれぞれの場所にも施設の老朽化等の課題があると思う。そういった問題の解決にも力を入れて欲しい。上越新幹線により東京からすぐに来る事ができる恵まれた立地にあるこの好条件を活かし、観光客を更に招く為にも、市民が楽しく休日を過ごせる街作りを行い、観光客が過ごしやすい環境を使った上で、観光資源の更なるアピールと拡充を行って欲しい。そうする事で、市民と観光客の両方に愛される素敵な観光都市になると信じている。	146	市では、醸造発酵のまち摂田屋・宮内と蓬平・山古志の風光明媚な自然をつないだ観光ルートなど観光コンテンツの造成を進めるとともに、越路地域のもみじ園における実生もみじ苗木の植樹による庭園整備など観光施設の魅力向上を図ることで、長岡花火だけでなく、地域資源の特徴やストーリー性を活かした観光誘客の取り組みを進めております。引き続き市有観光施設の適切な管理・整備による魅力の向上、観光コンテンツの造成や磨き上げに向けた取り組みを進めるとともに、146ページの政策5-4施策の柱1「豊富な観光資源を活かした観光誘客促進」の主な取組にも記載のとおり、SNSの活用などによる効果的な情報発信やプロモーション等により長岡市の観光地としての魅力の向上と更なる誘客を図ってまいります。	—
103	146ページ 政策5-4 施策の柱1「豊富な資源を活かした観光誘客の促進」 村上市の大江戸温泉のように、ホテルを目的にしているもしくはファミリーで泊まれるホテルを誘致してほしい。（候補地は寺泊や蓬平温泉） 雪国出身でない方だと雪に対して興味を持っている方が一定数いる。消雪パイプの展示や実際にパイプの点検が体験できる。マンホールカードのように消雪パイプカードをつくる。サラサラ、カチカチなど雪の違いを体感できる施設がほしい。	146	ご意見をいただきました雪国をキーワードとした体験等については、146ページの政策5-4 施策の柱1「豊富な資源を活かした観光誘客の促進」の主な取組に施策の方向性を記載しております。雪などの地域資源を活かした観光コンテンツの造成により観光誘客の促進を図ってまいります。	—

件数	意見の概要	計画案 ページ	長岡市の考え	計画への反映箇所 (ページ番号、修正箇所)
104	希望が丘コートなどの施設の駐車場を潤沢に用意してほしい。他の施設も同様で、宝の持ち腐れになっている。大きな総合公園にしてほしい。	149	ご意見の施設の駐車場については、164ページの政策6-2施策の柱2「人口減少などに対応した公共建築物 の適正管理」の主な取組に施策の方向性を記載しています。 公共建築物の適正管理を推進するにあたり重要な視点であると考えますので、今後具体的な施策を展開する中で参考とさせていただきます。	－
105	○政策5-5に関係 雪国なので、スキー場がある。子供から高齢者であっても、生涯スポーツとして、「雪を楽しむ」文化は長岡の貴重な財産です。しかし、温暖化の影響か降雪量が見込めない年があり、スキー場で働く人員も不安定な冬の収入見込みになっている（特に市営スキー場）。小学生のスキー授業もスキー場のオープン可否に関係して、変更をせざるをえないのは、準備をする先生にとっても負担が大きく、また関係するバス事業者にも影響が出る。 そこで、とちおファミリースキー場もしくは古志高原スキー場を充実させる。リフト増強か、斜面を広く拡張。それか萱峠トンネルを開通させ、須原スキー場までのアクセスを容易にすることがよいと考える。市営スキー場は、越後丘陵公園のような使い方で、より小さい子どもが雪遊びできるような施設として利用する方向性を提案する。	149	ご意見のスキー場については、164ページの政策6-2施策の柱2「人口減少などに対応した公共建築物 の適正管理」の主な取組に施策の方向性を記載しています。 なお、具体的な取り組みについては、個別計画「長岡市公共建築物適正化計画第2期計画」に基づき、推進していきます。	－
106	市内に三か所もスキー場がある、市営スキー場は毎年平均何日稼働しているのか、小雪で稼働しない年もあった、近くて便利だが維持費が大変だろう、合併地域の活性のほうへ力点を置いたらどうか、栃尾、山古志。	149 152	ご意見のスキー場については、164ページの政策6-2施策の柱2「人口減少などに対応した公共建築物 の適正管理」の主な取組に施策の方向性を記載しています。 なお、具体的な取り組みについては、個別計画「長岡市公共建築物適正化計画第2期計画」に基づき、推進していきます。	－
107	長岡市民球場の建て替えをしてほしい。	149 162	ご指摘いただいた施設は悠久山野球場であると思われます。豊かな暮らしのためのスポーツを推進するにあたり、悠久山野球場は「みる」スポーツのための重要な拠点であると考えています。ご意見は今後具体的な施策を展開する中で参考とさせていただきます。	－
108	基本目標5、政策5-6（中山間地域振興と持続可能な地域づくりに向けた未来創造） 施策の柱1、2の中山間地域に対する「現状」を読む限り、中山間地域が直面している厳しい現状をどれほど正確に把握しているのか疑いたくなる。 人口減少、少子高齢化の影響は深刻さの度合いを増しており、自然環境や生態系に及ぼす影響は言うに及ばず、集落の維持、住民の暮らし、自助機能の脆弱化、空き家の増加等、問題を挙げれば枚挙に暇がない。 10年前に始めた「地域の宝磨き」をこれから10年先も取り組むことなど全くナンセンスの極みであり、取り組みたくても人がいない。次期総合計画が終了を迎える2035年頃には消滅を余儀なくされる集落が出現すると思う。 中山間地域に対する認識を全文書き改めていただきたい。	152	中山間地域は都市部に比べて人口減少や少子高齢化が急速に進行しており、集落の維持や担い手不足、空き家の増加など、多くの課題を抱えていることは認識しています。 このような中、地域の宝磨き上げ事業は、地域住民が主体となり、イベントや地域資源の保全活動、情報発信といった活動を通して、来訪者の増加や地域活性化に寄与してきたと考えています。 また、地域や団体等の担い手を育成する取組みを事業要件に加え、実際に事業に携わる方々の育成や若者や子どもたちに事業への参加を促す取組みを進めています。 さらに、141ページの政策5－2施策の柱2「地域交流の活性化と地域資源の次世代への継承」の主な取り組みに記載のとおり、小中学生から自分の住む地域の宝や資源を知ってもらうことで、地域への愛着や誇りを醸成し、地域資源を次世代へ継承する取り組みを積極的に進めてまいります。 このほか、109ページ政策3-6施策の柱4「誰もが安心・安全・快適に暮らせる地域づくりの推進」において、外部人材や民間活力を活用した新たな地域運営の仕組みづくりをより一層推進していきます。 以上のことから、ご意見いただいた箇所については、計画案のとおりとします。	－
109	拡大も良いですが、長岡市の中心部だけが発展してるように見えます。 末端の支所、とくに与板支所の対応のひどさを耳にして悲しいばかり。 地元の支所では待ち時間が長過ぎる。 和島や三島に行くとか？ 区域を広げるだけでなく満遍なく良くなるように全域に満たされるようにしてもらいたい。	156	支所については、令和5年度から7年度にかけて業務内容と組織を見直していますが、すべての支所において同様の行政サービスを提供しています。 支所の対応については、ご意見として承ります。	－
110	○政策6-1に関係 DX化が圧倒的に必要。住居変更のため市民窓口を利用した際、多くの職員が、一件一件に丁寧な対応してくれた。 マイナンバーカードの発行や、住居変更など、おそらく多くの利用者がほぼ同じような流れで対応していると思われるため、すべてAI化、無人化はもちろん難しいかもしれないが、対応している会話をAIで読み込ませ、画面と音声案内による申請は大いにはできるのではと感じた。市職員の一人ひとりも、とても大事なマンパワーであり、能力があるはず。その一人ひとりがより人間的な能力を発揮してもらうほうが、この人口減少社会には確実に必要。受付や入力、記入など、市民側で負担できるところは市民が負担し、より複雑高度な分野を職員には担ってもらいたい。スーパーも、ひと昔前はセルフレジの発想はあっても、浸透はしなかったはず。しかし、今は市民理解が得られている。そのような形で、行政サービスもできるだけセルフに近い形で行えると、より人の力が使えると思う。	158	ご意見の「行政サービスのセルフ化」については、158ページの政策6-1施策の柱2「スマート行政の推進と公民連携による市民サービスの向上」の主な取組に施策の方向性を記載しています。長岡市では、マイナンバーカードを活用した電子申請やコンビニ交付、キャッシュレス決済、手書きを負担軽減する「書かない窓口」など、デジタル技術を活用した行政サービスの向上及び業務効率化に取り組んでおり、今後も、市民の利便性と職員の専門性を両立できる体制づくりを目指してまいります。	－
111	長岡市には6か所の廃校舎があるというが、借りようとする住人が住みにくくてはなれ、過疎地になり子供がいなくなった校舎であるのに、鉄筋コンクリートだからということで途方もなく高い賃料を提示する。例えば栃尾の西谷小学校が年間4 5 0万円の賃料。あんな不便で豪雪の過疎地の校舎を誰に貸そうというのか、信じられない、維持費もかかる、もうただに近い賃料、売値を提示すべきだ、しかも県外に照準を合わせ、職種を問わず、募集をする、それによって人が増え、税金も入り、過疎地が活性する、消費活動も出る、校舎は一切手を付けず現状で貸す、県内企業は+αにする。	162	ご意見の廃校舎の利活用については、164ページの政策6 施策の柱2「人口減少などに対応した公共建築物の適正管理」の主な取組に施策の方向性を記載しています。 不要財産の積極的な売却や貸付を推進するにあたり重要な視点であると考えますので、今後具体的な施策を展開する中で参考とさせていただきます。	－

件数	意見の概要	計画案 ページ	長岡市の考え	計画への反映箇所 (ページ番号、修正箇所)
112	<p>163ページ 政策6-2 施策の柱2「人口減少などに対応した公共建築物の適正管理」</p> <p>公共建築物について既存施設の統廃合、縮小、機能の複合化を行い使われていない箇所や不要な費用を削減することはとても良いと思うが、新規施設整備の抑制を行うことについては更なる人口減少につながるのではないかと考える。</p> <p>【大手通りについて】</p> <p>駅前的大手通りが昼間もとても暗い印象をいつも受ける。照明を増やすにも費用はかかると思うがアーケードの屋根にソーラーパネルを設置するなど何か方法はあると思う。</p> <p>大手通りには居酒屋が多くファストフード店が何もないので、その様な物があっても良いと思う。</p> <p>【長岡駅について】</p> <p>長岡駅の外装が錆色で、ただでさえ長岡は消雪パイプの影響で地面も錆色なのに駅も錆色でとても暗い印象と共にあまり栄えている駅に見えない。</p> <p>せっかく新幹線も止まる駅なので、もう少し外装から明るく活気のある感じにした方が観光地としても訪れる人も増えると思う。</p> <p>またもう少し飲食店をたくさん入れたりホテルを増やしたり、商業施設として駅をもう少し大きくした方が魅力的だと思う。</p> <p>【アオーレ長岡について】</p> <p>せっかく隈研吾さん設計の素敵な建築なのに奥まってしまっていて勿体無いと思う。駅前広場も狭い印象なので、思い切ってアオーレと駅に挟まれている部分の建物を無くして広い駅前広場の用にした方が魅力的になると思う。</p> <p>アオーレにカフェを併設すれば活気がでると思う。駅中にもあるがアオーレなど開けた場所でゆっくりお茶をしたい人も多いと思う。アオーレなら学生も勉強などで利用しているのをよく見かけ、お年寄りも駅近なので利用しやすく、また隈研吾さんの設計した建築物ということでインパクトもあり観光客もたくさん訪れると思う。</p> <p>アルビBBのホームなのにグッズショップなど常設されていないため、設置した方がアルビBBも盛り上がるし、色々な人に知ってもらえるきっかけにもなると思う。</p> <p>最後に、私は去年結婚を機に東京から長岡に移住して1年長岡に住んで感じたことであり、これらが人口減少対策になるかはわかりませんが、長岡が少し勿体無い感じをいつも受けている。</p>	164	<p>ご意見の公共建築物の適正管理については、地域で求められる機能やサービスを見極めながら取り組んでまいります。</p> <p>また、まちなかにおける取組みについては、108ページの政策3-6施策の柱3「都市の中心性を高める魅力あるまちづくり」の主な取組に施策の方向性を記載しています。</p> <p>まちなかの拠点性や回遊性を高め賑わいをひろげ、持続可能なまちづくりを進めるためには、市民ニーズに沿った機能もまちなかの経済活動として重要と考えております。民間投資の呼び込みによる、まちなかの公民協働による都市機能の集積と連携を進める中で参考とさせていただきます。</p> <p>アオーレ長岡に関するご意見については、まちなかの賑わい創出に向けた重要な視点として、今後の施策検討の際に参考とさせていただきます。</p>	ー